令和5年第4回神崎町議会定例会

議事日程(第2号)

令和5年9月14日(木曜日) 午前10時00分開議

- 日程第1 認定第1号 令和4年度神崎町一般会計歳入歳出決算の認定について
日程第2 認定第2号 令和4年度神崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第3 認定第3号 令和4年度神崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第4 認定第4号 令和4年度神崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
日程第5 認定第5号 令和4年度神崎町水道事業会計決算の認定について
日程第6 一般質問

追加議事日程

- 第1 発議案第9号 令和4年度神崎町一般会計補正予算(第3号)
-

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(10名)

1番	池田	孝幸	君	2番	鈴木	司	君
3番	椿	浩一	君	4番	大原	秀雄	君
5番	高柳	智	君	6番	荒井	葉一	君
7番	鈴木	節子	君	8番	石橋	伸一	君
9番	高橋	正剛	君	10番	寶田	久元	君

欠席議員（0名）

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	椿 等 君		
教育長	小川 泰求 君	総務課長	廣瀬 裕 君
総務課担当課長	池上 至人 君	町民課長	澤田 達也 君
まちづくり課長	石橋 正彦 君	まちづくり課主幹	越川 勝也 君
保健福祉課長	石井 達矢 君	教育課長	浅野 憲治 君
会計管理者	瀧川美恵子 君		

職務により出席した者

事務局長	本宮 賢 君	書記	花嶋 三永 君
------	--------	----	---------

◎開議の宣告

○議長（高柳 智君） 5日に引き続き、会議を再開いたします。

ただ今の出席議員は10名です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

（午前10時00分）

◎日程第1 認定第1号～日程第5 認定第5号の質疑、採決

○議長（高柳 智君） 日程第1 認定第1号から日程第5 認定第5号を議題とします。

令和4年度神崎町一般会計決算、3特別会計決算及び水道事業会計決算については、5日に提案され、6日と8日に各常任委員会で審査をしていますので、各委員会が担当した部門ごとに審議を進めていきたいと思えます。

最初に、総務文教常任委員長より総括質問の申出がありますので、これを許します。

1番 池田総務文教常任委員長。

○1番 総務文教常任委員長（池田 孝幸君） 総務文教常任委員会総括質問。

総務課。

ホームページ改修事業の評判はいかがでしょう。アクセス件数は増加していますか。

庁舎など公共施設の大規模修繕計画は今後ありますか。教えてください。

常備消防事業委託料の積算内容を教えてください。

ふるさと寄附金事業の寄附額及び神崎町の住民税控除額を教えてください。また、事務費等を含めたトータルの状況はどうなっているか教えてください。

町民課・税務。

固定資産税、たばこ税の増額要因は何ですか。ご説明願います。

県税職員の短期派遣制度の支援内容はこういったものでしょうか。教えてください。

不納欠損の内容別の状況を教えてください。

町税過誤納還付金が274万円を超えていますが、その内容、理由を教えてください。

町民課住民・環境係。

住宅用太陽光発電設備への補助を行っていますが、今後、撤去費用への補助は考えていますか。

河川調整水質検査を実施していますが、その検査結果の公表はしていますか。

ごみの分別、指定袋の使用など廃棄物処理について、町民へどのような啓蒙活動を行っていますか。

不法投棄監視員を設置していますが、昨年度の不法投棄の件数、内容はどのようなものでしょうか。

町民課国保。

国保財政が広域化に伴い安定し、国保財政調整基金も積立てが続いています。子育て支援策として、18歳以下の子どもにかかる国保税均等割の部分を無料にできないのでしょうか。

特定健診の受診者数は何人ですか。また、受診者に配られる道の駅ドリンク券の利用者数は何人ですか。教えてください。

後期高齢。

県内トップクラスであった後期高齢者1人当たりの医療費の状況はどうなっていますか。

1人当たり医療費が減少した原因をどう考えますか。

教育委員会。

発酵マラソン大会の決算状況を公表しないのですか。また、交通規制箇所での警備員の対応など、町として改善策は考えていますか。

小中学校のトイレの洋式化の改修率はどうなっていますか。また、今後の改修計画はありますか。

医療的ケア対応業務委託で、対象生徒の通学日数が減っていましたが、本年度の状況はどうですか。

外国籍の小中学生の学習の機会は保障されているのですか。教えてください。

有機食材を積極的に給食に使用している自治体もあるようですが、神崎町はどう考えていますか。

以上、21の総括質問にお答え願います。

○議長（高柳 智君） これより答弁を求めます。

廣瀬総務課長。

○総務課長（廣瀬 裕君） 私のほうから、ホームページと庁舎の件についてお答えさせていただきます。

まず、ホームページの改修事業の評判はどうか、アクセス件数のほうは増加していますかというご質問でございます。

本年度より運用を開始した新しいホームページの改善点は、スマートフォンからのアクセス増加に対応したスマートフォン専用のブラウザ表示——これはスマートフォンの画面のことですが——や、ホームページのページ構成の再構築を行い、閲覧者が情報を探しやすいデザインに変更したことです。

また、アクセス件数については、旧ホームページ、現在月3万7,795件、新しいホームページについてが4万9,311件となっており、アクセスのほうは増加傾向にございます。

ホームページ自体の評判については、まだ私のところまでは届いておりませんが、今後、新しいホームページに対するアンケート等を検討してございます。

次に、庁舎などの公共施設の大規模修繕計画はありますかというご質問でございます。

役場庁舎につきましては、平成20年度に約2,800万円をかけ、外壁等の改修工事を実施しております。工事の内容につきましては、庁舎壁面の補修や、サッシ周りのシール、パッキングの全面改修、屋上塔の全面改修等を実施しております。また、令和4年度にも、庁舎北側壁面修繕工事を約100万円弱で実施しております。

公共施設の維持管理については、神崎町公共施設等総合管理計画——こちらは平成29年3月策定してございます——及び総合管理計画に基づく個別施設計画を指針としております。各公共施設の大規模修繕については、日頃からの定期点検等に基づき、長期間の使用に耐えよう、大規模改修工事の是非についても今後も検討してまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（高柳 智君） 池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） それでは、私のほうから常備消防委託料及びふるさと納税について回答させていただきます。

まず、常備消防の委託料の積算内容を教えてくださいという質問であります。

令和4年度、成田市への消防事務委託費の決算額といたしましては、1億1,046万8,000円で、そのうち9割を占めるのが人件費となっております。

積算の方法であります。神崎町における火災・救急の出動の拠点となります下総分署の総員21人及び応援要員として大栄消防署4.4人分の給与総額を、成田市の下総地区と神崎町で人口案分で計算いたしまして、神崎分の人件費が9,977万444円となり

ます。

残りの委託金額につきましても、下総分署に係る経費といたしまして、光熱水費、修繕料、庁舎管理等の委託料、燃料費等について、人件費同様に人口案分での計算がされております。

成田市消防への委託料であります。例年1億円前後で推移しております。また、その金額につきましては、成田市消防作成の消防事務委託費明細書に基づき精査をしまして、例年2月頃に開催されます神崎町・成田市消防連絡会議で連絡調整を図った後、町の消防委員会において内容を説明させていただいております。

続きまして、ふるさと寄附金事業の寄附額、神崎町の住民税控除額を教えてください、また、事務費等を含めたトータルでの状況はどうなっていますかとの質問の回答でございます。

令和4年度のふるさと納税寄附実績額は、1,015万3,000円となっております。745件の実績であります。

また、令和3年度の神崎町町民の行った他自治体への寄附金額を基に控除されたふるさと納税に係る令和4年度市町村民税控除額であります。502万7,631円となっております。

ふるさと納税を受けた際の返礼品代、サイト掲載料、クレジットカード決済手数料等の経費につきましては、寄附金額の経費5割以内、返礼品につきましては3割以内というルールがございまして、そのルール内に収まっております。総務省に報告しております対象経費といたしましては、506万4,263円が経費としてなっております。

事務費等を含めたトータルでの状況であります。寄附実績額から事務費等経費及び神崎町の住民税控除額を引いた額について、約6万円のプラス、ほぼ差引きゼロの状況となっております。

総務課主管の質問に対する回答といたしましては以上になります。

○議長（高柳 智君） 澤田町民課長。

○町民課長（澤田 達也君） それでは、私のほうから、町民課に対するご質問に回答させていただきます。

まず、税務係になります。

固定資産税、たばこ税の増額要因は何ですかというご質問でございます。

まず、固定資産税でございますが、こちらについては令和3年度に新型コロナウイルス感染症の特別な対策といたしまして、前年に比べて事業収入が減少した中小事業者対しまして、事業用家屋及び償却資産の固定資産税が減額になるという特例措置が

ございました。こちらの措置に関しましては、1年限り、令和3年度限りということでしたので、そちらで減額した分が令和4年度、元に戻ったという考え方でございます。金額としては、約1,500万円になります。また、1社大きく設備投資を行った事業所がございました。こちらの償却資産のほうの増額が、こちらもおよそですが1,500万。合わせて3,000万の増という形でございます。

また、たばこ税の増額でございますが、こちらについては令和3年の10月からたばこ税のほうが増税ということで、たばこ1本当たり1円、こちらが引き上げられております。増税直後はたばこの消費本数が一時減っているという状況でございましたけれども、徐々に消費本数が元に戻っていったという傾向で、その辺が増額の要因になったと考えております。

続きまして、県税職員の短期派遣制度の支援内容はこういったものでしょうかというご質問にお答えさせていただきます。

こちらの制度につきまして、平成30年度から、この県職員の短期派遣制度を神崎町で活用してございます。県の特別滞納処分室から派遣を受けております。

内容といたしましては、町の職員と一緒に臨戸、また、搜索等に同行していただくことで、搜索での手順や手法、差押えや換価などについて学ぶことで、滞納整理を行いながら職員のサポートをしていただきつつ、かつスキルアップを図ることが目的で、今後の滞納整理に生かすことを目的に実施している制度でございます。

続きまして、不納欠損の内容別の状況ということでございます。

不納欠損と申しましても種類がございまして、大きく分けて執行停止、即時消滅、時効完成ということで、一応この3つの種類に分かれます。

執行停止と即時消滅処分というのは、一定の要件に該当する場合に、滞納処分の執行を停止する制度であります。最終的には、税金の納税義務の消滅につながる制度となります。停止してから、基本的に執行停止は3年、即時消滅は即刻、納税義務が消滅いたします。

執行停止をする要件といたしましては、滞納者の資力を勘案ということで、徹底した財産調査、また搜索等を実施して、生活の状況、換価価値のある資産の存在があるか、ないかということ徹底して調査を行った上で、このまま滞納処分を続行することによりまして、その方の生活を著しく窮迫させるケースの場合に執行停止という処分を下せるということでございます。

即時消滅につきましては、法人等、倒産等の場合で特別な事情がある場合に、3年間の処分停止、この執行停止を待たずに、即時に納税義務を消滅させるということが

即時消滅ということでございます。

時効の完成につきましては、法定の納期限から5年を経過すると、これは完全に時効として消滅するという内容でございます。

こちらを踏まえまして、令和4年度の不納欠損の状況でございますが、不納欠損額が合計で476万1,000円でございます。そのうち執行停止427万8,000円、即時消滅12万6,000円、時効完成35万7,000円という内訳でございます。

続きまして、町税過誤納還付金が274万円を超えているが、その内容、理由は何ですかというご質問でございます。

過誤納還付金の内容でございますが、個人住民税が32件、金額でいうと141万825円。続いて、法人町民税が12件、金額で126万6,000円。軽自動車税が8件、金額で6万8,700円という内訳でございます。

それぞれの税目ごとの内容でございますが、個人住民税につきましては、期限後申告、所得税の申告等によりまして、過去に遡って税額変更がされたものにつきまして、住民税のほうも税額変更が必要になるということで生じたもの、また、住民税の所得割から控除ができなかった配当割及び株式等の譲渡所得割の控除分、こちらのほうを還付した内容になってございます。

法人町民税につきましては、基本的には年に一度、確定申告を行い、法人町民税を確定させるものでございますが、年の途中で中間申告、また予定申告等を行う事業所がございます。中間申告等で納付した税額が実際、確定申告時で最終的に確定した税額より多く納付されていた場合は、中間申告で納付された税金を還付するという必要が出てまいります。こちらの法人町民税の還付はそういった内容になります。

軽自動車税につきましては、期日前の廃車手続をされていた軽自動車に課税された状態になっていたものを発見したため、こちらのほうの還付を行ったという内容でございます。

引き続きまして、町民かの住民・環境係のご質問に移らせていただきます。

住宅用太陽光発電設備への補助を行っていますが、今後、撤去費用への補助は考えていますかというご質問でございます。

こちらの住宅用太陽光発電設備の補助でございますが、交付の目的が、地球温暖化対策の推進、電力の強靱化を図るため、住宅用設備を導入する者に対して補助金を交付するという形の補助金でございます。現在、耐用年数を超えた設備を撤去する費用に関しましては、現在のところですが、補助金の支給は考えていないという状況でございます。

続いて、河川調整水質検査を実施していますが、その検査結果の公表はしていますかということでございます。

河川の水質検査につきましては、町内の河川5か所で毎年、実施してございます。調査地点のほうは、定点で、向野橋、本宿の川端、本宿5、八間川、また大貫の地先で行ってございます。

これまでご指摘のように公表等は実施しておりませんでした。近隣住民の方への環境に対する意識啓発の一環として今後、公表について検討してまいりたいと思っております。

続きまして、ごみの分別、指定袋の使用など廃棄物処理について、町民へどのような啓蒙活動をしているかというご質問でございます。

ごみの分別、指定袋の使用、また、収集日につきましては、ごみの出し方一覧表とごみ収集カレンダーというものを作成いたしまして、毎年、各戸配布を行っているということでございます。また、町のホームページや町民カレンダーなどでも、収集日については確認ができるようになってございます。

その中でも、ごみの出し方一覧表については、英語版もこちらでご用意をいたしまして、要望のあった方にはこちらの英語版をお渡ししていると。また、今年度、要望がありました地区のごみステーションに、スリランカの言語、シンハラ語で書かれたごみの収集の注意書き等を別途、貼り出すようにしてございます。

ごみの出し方につきましては、折に触れながら広報掲載をしております。今後は分別の意義等についても、併せて広報等により啓蒙活動を行いたいと考えてございます。

続きまして、不法投棄監視員を設置していますが、昨年度の不法投棄の件数、内容はどんなものですかというご質問でございます。

現在、5名の方に不法投棄監視員をお願いいたしまして、それぞれの担当地域内で不法投棄の監視についてお願いしております。不法投棄監視員の方には毎月、報告書を提出してもらうということでお願いしてございます。

昨年度、令和4年度の相談件数につきましては、不法投棄が4件、悪臭が2件、合計で6件でございました。不法投棄されたものにつきましては、タイヤや布団、冷蔵庫など様々なもの、また、場所につきましても、利根川のバイパス沿いや武田地先、郡地先など様々な場所でもございました。

続きまして、町民課の国保係の内容についてご説明いたします。

国保財政が広域化に伴い安定し、国保財政調整基金の積立てが続いています。子ども・子育て支援策として、18歳以下の子どもに係る国保税の均等割部分を無料化でき

ないかというご質問でございます。

お子様の国保税につきましては、令和4年度から、未就学児のお子さんに関しましては、均等割の保険税について無料として、国・県・町が負担するということになってございます。

ご提案いただきましたことにつきましては、子育て支援策として大変よいことだと考えてはございますが、一般会計から繰入れ等も受けているという現状もございます。今後、こちらの制度につきましては、国保運営協議会等において十分検討する必要があると考えてございます。

続きまして、特定健診の受診者数、また、受診者に配られる道の駅ドリンク券の利用者数は何人ですかというご質問でございます。

令和4年度特定健診の受診者ですけれども、40歳以上の特定健診受診者407名、19歳以上の国保加入者の若い世代の健診、こちらが11名。ですので、国保の加入者の健診受診は418名。また、後期高齢者の健診の受診者が233名。合計いたしますと651名の方が受診を受けていただいております。

そのうちドリンク券の利用者でございますが、国保加入者、特定健診受診者、また若い世代の健診受診者の方が合計で148名、率でいうと35.4%の方、後期高齢者健康診査の受診者の方が75名、率にしますと32.2%の方がドリンク券の利用を行っているということでございます。

続いて、後期高齢者医療の関係についてご説明いたします。

県内トップクラスであった後期高齢者1人当たり医療費の状況はどうなっていますかという状況でございます。

後期高齢者の1人当たりの医療費につきましては、令和元年度から令和3年度の3年間、県内1位ということでもございました。こちらが今度、令和4年度に関しましては、県内で27位という状況になってございます。こちらについては、令和4年度1人当たりの金額、83万5,020円という状況でございます。

引き続きですが、1人当たり医療費が減少した原因をどう考えていますかということでもございますが、神崎町のように被保険者数が少ない自治体の医療費につきましては、数名の高額な医療費がかかる方がいらっしゃいますと、全体の平均額にやはりどうしても大きな影響が出てまいります。今回、県内1位から27位ということで、大分ランクは下がった状況ではございますけれども、全員の医療費自体がそれほど大きく下がったというわけではなくて、こちらの町のような小さい規模の自治体にはよくある現象ではあるのかなと考えております。減少した理由でございますけれども、突出

して大きな影響を及ぼすような医療費のかかる方が、4年度に関しましては例年より少なかったということが原因だと考えてございます。

町民課からは以上になります。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） 教育委員会から総括質問の回答をいたします。

まず1つ目、発酵マラソン大会の決算状況を公表しないのですか、また、交通規制箇所での警備員の対応など、町として改善策は考えていますかというご質問です。

発酵マラソン大会の運営につきましては、実行委員会形式で行っております。決算は、実行委員会の総会で審議・議決されております。議会においては、質問等が出た場合に回答しております。そのため、一般に向けての特段、公表はしておりません。

また、大会期間中の交通規制につきましては、警備会社への委託と町職員、ボランティアスタッフによる対応となっております。事前に交通規制略図を渡し、規制時間、場所等については説明しておりますが、町内の細かい地理まで把握できていない方がいるのは確かです。次回大会に向けて、迂回路を含めた交通規制箇所について詳細な説明を行い、大会スタッフにより理解していただけるよう努めてまいります。

2つ目ですが、小中学校のトイレの洋式化率は、また今後の改修計画はありますかというご質問です。

小中学校のトイレの洋式化率については、9月1日現在、神崎小42.42%、米沢小69.23%、神崎中45.16%であり、神崎町全体としては52.27%の洋式化率となっております。千葉県全体の小中学校の洋式化率は現在62.45%であり、今後は段階的に洋式化を進めて、県平均並みに整備していきたいと考えております。

3つ目になります。医療的ケア対応業務委託で、対象生徒の通学日数が減っていましたが、本年度の状況はどうですかというご質問です。

昨年度の生徒の通学日数の減少は、コロナによる影響がありました。コロナにより登校を控えておりました。

本年度の様子ですが、生徒は週3日、月、火、金に登校しておりまして、登校時間も7時50分には登校しており、授業も昨年は午前中で下校しておりましたが、今年度は午後の5時間目、14時10分まで授業を受けて、それから下校するようになりました。

町の支援体制は、看護師、特別教育支援員を1名配置して、学校での生活面・学習面をサポートしております。今後も継続して支援をしてまいります。

続きまして、外国籍の小中学生の学習の機会は保障されているのですかというご質問です。

経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約（昭和54年8月4日条約第6号）及び児童の権利に関する条約（平成6年5月16日条約第2号）により、児童・生徒は教育を受ける権利が保障されております。

現在、神崎町には、全く日本語のしゃべれない外国籍児童2名がおります。その子どもたちに対して、町では日本語指導の支援員を雇用し、教室からの取り出しで日本語指導に当たっております。外国籍の小中学生が適切な教育を受けるために、今後も必要な支援をしてまいります。

最後になりますが、有機食材を積極的に給食に使用する自治体もあるようですが、神崎町はどうですかというご質問です。

現在の給食の賄い材料については、なるべく地元産または県内産の食材を使い、地産地消により、子どもたちに給食を提供しております。なお、お米、ニンジン、レンコンについては神崎町産を100%使用しています。

ご質問にあったように有機食材を学校給食に使用している自治体は、幾つかあるようです。近隣で有名なのが、いすみ市であります。いすみ市は、市長が有機栽培を進めており、その栽培に賛同する担い手を増やし、学校給食に有機米を提供できるようになったそうです。いすみ市では現在、有機米の作付面積は38ヘクタール、18の経営体により、特別栽培農産物認証制度の認証を受け、JAいすみが精米し、給食センターに出荷しているそうです。

学校給食担当課といたしましては、賄材料の安定的な供給ルートの確保と付加価値のある食材ということで多くの予算の確保が必要となります。したがって、今後、農政係や生産者組織、町の財政担当課等と検討を進めてまいります。

以上であります。

○議長（高柳 智君） 以上で総務文教常任委員長の総括質問に対する答弁が終わりました。再質問はございますか。

10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） 再質問ですので、総括質問じゃなくて通告していないから、不意な質問もあるとは思いますが、答弁者はよくメモしてください。答弁漏れのないように。

これは財政だから池上課長かな。議会運営費ということで、議員報酬、これは28ページ、報酬が、端数はともかく2,100万で、議員期末手当が600万、共済費が600万。これ全部足すと3,300万くらいになるわけなんです。その15%を戻す。20年前のという議員の中の動きもあるので、そうしますと、450万くらいに上がるわけなんです

か。まずこれが1点。

その次、町長のほうですが、町長の交際費は56万。これは不用額もないから、きれいに全部消化したと思いますが、町長、特別職の、私、この決算書を見ても分からないので、これは何ページにあって、町長は実質、今は町長は30%のを元に戻したけれども、決算時には30%カットしているはずですから、その決算状況を、ちょっと私、この決算書を見ても分からないから、教えてください。

それとあと財調と町債について。先日、飯田監査委員からの決算報告で、基金全体の決算、年度末現在は、端数はともかく25億あると言っていました。それでその中で、町長は挨拶の中でよく財調は25億のうち12億で、町の借入れ、臨時財政対策債を引いたものは3億と言っていますが、それもこの決算書でどこに載っているか私は分かりませんが、その説明をお願いします。

それと、32ページ、ふるさと寄附金事業で、報償費でふるさと寄附金御礼と出ていますが、これはふるさと納税の先ほどの答弁のあれですか。32ページ。

それと、あとは実質収支が2億2,000万ある。それで決算では、これも飯田監査委員の報告では、半分は財調に積むと言っていましたから、約2億2,000万だから、1億ちょっとは積んだわけですか。

最後に、消防団の報酬というのが520万ですか、これが掲載されていますが、この消防団は非常勤特別職の、20年前、条例を変えて下げているわけではなくて、これは1市5町の消防全体のですから、消防団員の報酬は20年前に下げているわけですか。

5点くらいありますが、これをお聞きします。

○議長（高柳 智君） 寶田議員、確認ですけれども、6点ですか。

○10番（寶田 久元君） 6点かな。

○議長（高柳 智君） 6点ですか。確認いたします。今の質問。

○10番（寶田 久元君） そうかな。今5点かと思ったけど、6点か。

○議長（高柳 智君） 何点ですか。

○10番（寶田 久元君） 6点くらいあります。

○議長（高柳 智君） 6点でよろしいですか。

○10番（寶田 久元君） はい。

○議長（高柳 智君） 池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） 寶田議員の質問にお答えいたします。

まず、1点目の議会の運営費の15年前の報酬に上げた場合の金額の試算という質問であります。

こちらにつきまして、試算のほうをしております、現在、議長23万1,000円を27万円、副議長19万3,000円を22万5,000円、議員17万4,000円を20万3,000円に上げた試算し、また、期末手当も同様に上げた場合の試算、約460万円という試算でありますので、寶田議員のおっしゃる450万、大体その程度かなと思っております。

2点目の、町長の給料が決算書上どこに載っているかという点であります。決算書33ページになります。2款、1項、1目、総務管理費がございます。その中段、職員給与という事業があると思います。こちらの給料のところ、特別職給630万円、これと特別職の期末手当265万6,499円、また、共済費につきましては、一般職と特別職一緒になってしまっておりますので、こちらのほうでは記載のほう、分かれておりません。町長の給与につきましては33ページに記載がございます。

3点目の財政調整基金の現在高であります、令和4年度末の現在高につきましては、決算書の177ページをご覧くださいと思います。177ページに、基金の年度末現在高が載っております。

こちらに各基金、載っておりますが、財政調整基金の令和4年度末現在高が、一番右側になりますが、12億9,234万1,000円、こちらが令和4年度末の財政調整基金の残高になります。

また、起債のほう、令和4年度末の町債残高につきまして、臨時財政対策債を除く町債残高、3億65万4,000円。こちらにつきましては、決算書のほうに起債の残高というのは載ってきませんので、起債のほうは予算書あるいは決算統計等で数字のほうを見ていく形になります。

参考までに、令和4年度の町債残高であります、16億7,856万6,000円、そのうち臨時財政対策債を除く町債残高が3億65万4,000円という形になっております。

4点目の、31ページ、ふるさと納税の質問であります。ふるさと納税につきましては、こちらに書いてある経費578万4,356円が寄附者に対する返礼品及びそれに伴う事務手数料等の経費の合計額となっております。

5点目の、実質収支であります、一般会計になりますが、117ページになります。決算書の117ページの2億2,310万7,774円というのが令和4年度末の実質収支になります。こちらにつきましては、さきの補正予算、9月の補正予算におきまして1億1,155万4,000円を積立金ということで計上しております。

6点目の、消防費になります。消防費につきましては、非常勤特別職の報酬条例ではなく、消防団に係る報酬条例のほうを改正してやったと記憶しておりますが、今ちょっと手元に資料がございませんので、その辺、確認させていただければと思います。

以上になります。

○議長（高柳 智君） 10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） 分かりました。全部よい説明でした。

町長の全体の令和4年度の給与の全部は、今、池上課長が話したのは、1,000万以下だと思います。全部足したら。共済費から。それに30%増した場合には一千何百万になりますか。

それと、消防費のほうは後で調べてもらいますが、神崎消防の団員の報酬、あれは条例ではカットしていなかったのか、それともあれは1市5町かな、それに基づいての、町単独でなくて、広域での報酬なのか。

この2点。

○議長（高柳 智君） 廣瀬総務課長。

○総務課長（廣瀬 裕君） 町長への報酬につきましては現在、月額52万5,000円、年額にしますと630万円。これに期末手当265万6,500円を加えますと、895万6,500円となっております。

これをプラス3割いたしますと、月額75万円、年額にしますと900万円。期末手当379万5,000円を加えまして、年額1,279万5,000円となり、380万円ほど増加するようなこととなります。

以上です。

○議長（高柳 智君） 池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） 消防団の報酬につきましては、神崎町独自で設定しておりまして、現在の金額であります。2万5,000円という金額を、昨年度2万円から2万5,000円に上げたと記憶しております。そのときの消防団条例をたしか上げたと思いますので、その辺、ちょっと確認させていただければと思います。香取広域で決められた金額とは違い、神崎町独自でその辺は決めております。

以上になります。

○議長（高柳 智君） ほかに再質問はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） 以上で総務文教常任委員会に係る質疑を終結したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） 異議ありませんので、総務文教常任委員会に係る質疑を終結いたします。

続いて、まちづくり厚生常任委員長より総括質問の申出がありますので、これを許します。

3番 椿まちづくり厚生常任委員会委員長。

○3番 まちづくり厚生常任委員長（椿 浩一君） 3番、椿浩一です。議長のお許しを得ましたので、まちづくり厚生常任委員会より総括質問をさせていただきます。

まずは保健福祉課の担当者のほうなんですけれども、福祉タクシー券の対象要件はどうなっていますか。

どんぐりの森の利用者が飛躍的に増加していますが、要因は何ですか。

母子保健事業の執行残が多いようですが、要因は何でしょうか。

日中は独居という高齢者も多いと思いますが、緊急通報装置の対象にはならないのですか。

続いて、介護保険事業特別会計。

介護保険料の未納額と不納欠損の内容を教えてください。また、滞納繰越額は増加傾向でしょうか。

滞納解消に向けた差押え等処分は行っているのですか。

続きまして、まちづくり課地域振興係。

毎年、酷暑となっていますが、神崎ステーションホールの空調設備は利用していますか。また、神崎ステーションホールの管理区分、管理組合への委託料の積算内容はどうなっていますか。

町民カレンダーについて、町民の利用状況など検証していますか。

人材育成事業の利用がなくなり、長年経過していますが、当初予算に盛り込む意味があるのですか。

移住・定住補助金の「定住」は、神崎町民は該当しないのですか。また、毎年増額補正されていますが、当初予算計上しないのですか。

続きまして、産業係。

有害鳥獣駆除の駆除実績はどうなっていますか。また、猟友会は何名で実施していますか。

天の川公園の生垣があまり管理されていないようですが、確認はしていますか。また、公園の利用状況はどうなっていますか。

非農地判断により遊休農地が大きく減少していますが、非農地の地目は変更されているのですか。

スマート農業を推進していますが、神崎町の状況はどうなっていますか。

続いて、建設係です。

神崎川の設計委託料や護岸工事について、補助金はないのですか。

武田古山線改良工事で矢崎橋の段差解消を実施していますか。

成田神崎線で、消防庫・農村館の移転先問題の解消に向けて、計画変更など考えていますか。

町道毛成堀籠線の用地買収の状況はどうなっていますか。また、毛成橋の橋梁定期点検結果を教えてください。

続いて、水道係です。

給水世帯数が減っているようですが、利用していない世帯へのあっせん活動はしていますか。また、水道水の味が落ちたとの意見がありますが、水質はどうですか。

水道施設台帳の電子化を職員で行っていますが、今後、委託という考え方はないのですか。

以上20件となります。よろしく申し上げます。

○議長（高柳 智君） これより答弁を求めます。

石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 保健福祉課に対する総括質問にお答えさせていただきます。

まず1点目ですが、福祉タクシー券の対象要件はどうなっていますかということですが、福祉タクシー利用助成事業の対象者につきましては、在宅で日常生活を営む方で、次の4つのいずれかの要件を満たす方が対象となっております。1点目ですが、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている方。2点目ですが、要介護あるいは要支援認定を受けた方。3点目ですが、65歳以上で運転免許証を自主返納された方。4点目ですが、65歳以上で同居している家族全員が公共交通機関以外に交通手段を持たない方。以上でございます。

続いて、どんぐりの森の利用者が飛躍的に増加していますが、要因は何ですかというご質問です。

未就学児の親子での遊び場を提供するという目的で、どんぐりの森を開設しております。令和3年度までは、週2回の午前中のみ、ボランティア1名で実施してまいりました。令和4年度からは、保育士を配置しまして、週3回、午前、午後それぞれの開設とし、内容を充実させることで利用者の増加につながるのではないかと考えまして、実施してまいりました。

主な内容としましては、親子で行う手遊び、歌遊び、体操、制作、あるいはお楽し

み会などのイベント行事を行いまして、保健師とも連携しまして、保健栄養相談も毎月設けました。また、広報紙では開催日等のお知らせを行うなどの周知の取組にも努めました。以上のような取組が利用者の増にも結びついたと考えております。

3点目のご質問です。母子保健事業の執行残が多いようですが、要因は何でしょうかという内容です。

母乳ケアの費用の助成金、あるいは特定不妊治療費の助成金などの申請が少なかったことが、執行残の主な要因となっております。また、同じ保健衛生総務費の中で、こども医療費助成金につきまして、これも予算の見込みよりも申請が増えなかったということから、執行残が発生しております。

予算の執行状況及び執行見込みをしっかりと今後も把握しながら、必要に応じて予算補正を適切に行いまして、多額の不用額が生じないように今後も努めてまいります。

続いて、日中は独居という高齢者も多いということで、緊急通報装置の対象にはなっていないかということでございます。

緊急通報装置の利用対象者につきましては、扶養義務者等による支援が困難である方で、また、次のいずれかの要件を満たす方が対象となっております。1点目は、年齢70歳以上で独り暮らしの方、2点目としましては、年齢70歳以上だけで構成され、心身機能の低下により日常生活を営む上で常時注意を要する世帯。以上、現行の制度上は、日中独居の方につきましては対象とはなっておりません。日中独居となる高齢者、非常に多いのかなとは考えますが、将来の財政負担を十分考慮しまして、制度について調査研究をしまりたいと考えております。

続いて、介護保険事業特別会計の関係でございます。

介護保険料の未納額と不納欠損の内容、また滞納繰越額は増加傾向かというご質問です。

未納額でございますが、現年度分につきましては25件でございます。昨年度と比較しまして、おっしゃるとおり増加傾向となっております。原因としましては、介護保険料を払い始める65歳に到達したばかりの方が通知書や督促状に気づかずに、未納となっていることなどが多く見られます。今後も、高齢化の進行に伴い、同様のケースも増え、滞納繰越も増加する見込みであるため、制度周知や徴収事務の強化が今、必要となっていると考えております。

また、令和4年度の不納欠損につきましては5件、13万9,000円で、時効消滅によるものでございますが、うち4件は、死亡により払いが困難となったものでございます。

続いて、滞納解消に向けた差押え等、処分は行っていますかというご質問です。

現在は、介護保険係単独での差押え等を行っていないというのが実状でございます。税務係ほどの現在、実績やノウハウが少なく、滞納処分が行える体制が取れていないという実情でございます。今後につきましては、税務係とも十分連携しまして、積極的な滞納処分ができるような体制を整えてまいりたいと考えております。

特に支払い能力があるにもかかわらず滞納しているケースも中にはございますので、保険料の負担の公平性の観点から、今後は不納欠損となる前に適正な措置を講じてまいりたいと考えております。

保健福祉課からは以上になります。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） 私から、まちづくり課地域振興、産業、建設の関係、お答えをさせていただきます。

まず1点目、地域振興ですけれども、毎年、酷暑となっておりますが、神崎ステーションホールの空調設備は利用していますか、また、神崎ステーションホールの管理区分、管理組合への委託料の積算内容はどうなっていますかというご質問にお答えいたします。

神崎ステーションホールには、空調設備があります。冷房を使うことが可能です。現在、週1回行われている高齢者の体操教室の際には、冷房を使用しております。また、管理組合の作業員がいる時間帯、午前・午後1時間から2時間程度になりますが、にも使用しております。空調設備の操作は手動で行うため、作業員がいる場合に限って使用しておりますが、待合室の利用状況と、日中の時間帯に冷房を使用し続けた場合の電気料金などを考慮しながら、今後の空調設備の利用方法を検討したいと考えております。

また、神崎ステーションホールの管理区分ですけれども、駅舎とステーションホールで管理区分、分かれております。ステーションホールの部分については町の管理、また、駅舎、改札等がある部分についてはJRの管理となっております。

神崎ステーションホールの管理組合ですけれども、こちらへの委託料の積算内容ということで、1日に作業員1名が4時間程度——これは午前・午後と夜8時に施錠します。そちらの勤務になります——を基本に、最低賃金を基準とする、昨年、4年度当初は時給960円で、最低賃金が切り上がりましたので、10月以降、時給990円で積算をしております。令和4年度につきましては、4時間勤務日が357日で、139万2,120円。4月から9月が180日で69万1,200円、10月から3月が177日で70万920円。

そして、年末年始とお盆については、2時間に勤務時間を短縮しております。2時間勤務日が8日で、1万5,660円となります。それに保険料の6万4,370円を加えた147万2,150円、こちらが委託料ということで決算されております。

続きまして、町民カレンダーについてお答えいたします。町民カレンダーについて、町民の利用状況などを検証しておりますか。

発酵の里カレンダーは、平成27年に作成を開始し、今年の令和5年度で9回の発行を行っております。この発酵の里カレンダーは、発酵の里である神崎町を町民の皆さんに広く知ってもらうことを目的として作成しております。

周知方法として、カレンダーを採用したのは、1年を通じて使用するものであり、長期間、皆さんの目に触れるとの考えからであります。その年のテーマに応じた発酵文化の紹介や町内での行事など、町民の皆様役に役立つ情報を掲載するようにしております。年末に翌年の発酵の里カレンダーを全戸配布しておりますが、これまで発行したカレンダーについては、窓口で直接、受け取りにおいでになる方もいらっしゃいまして、おおむね好評を得ていると考えております。

カレンダーの大きさや日付の表示などに関するご意見等もいただいておりますが、発酵の里カレンダーの目的としましては、発酵の里こうざきを、町民の皆さんを中心にPRすることと考えております。周知活動には一定の効果があると考えております。

続きまして、人材育成基金の利用がなくなり長年経過していますが、当初予算に盛り込む意味があるのですかといったご質問にお答えいたします。

人材育成基金は、平成2年度に造成され、平成7年度から中学生の海外派遣事業への助成を中心に活用されていきました。その後、平成15年度を最後に、中学生の海外派遣事業は実施がされておられません。平成17年度から、本町のALT（外国語指導助手）を雇用する費用に活用しておりましたが、基金残高が減少したため、平成27年度からは人材育成基金の活用がない状況となっております。

今後は、学生の職業体験を伴う国内研修など、新しい事業の検討のほか、基金の廃止も念頭にいたした対策が必要であると考えております。

続きまして、移住・定住補助金の「定住」は神崎町民は該当しないのですか、また、毎年、増額補正されてはいますが、当初予算計上はしないのですか、こちらのご質問にお答えいたします。

神崎町の移住・定住奨励金は、町外からの転入者が住宅を取得した場合に交付する内容となっております。「定住」については、移住してきた方が長期間、神崎町に住んでいただくことを目的としておりますので、町内在住者の方は対象となっております。

せん。

また、もともと神崎町在住だった方が一定期間、町外、5年以上ですけれども、生活されて再度、神崎町に転入して、住宅を取得した場合には、奨励金の対象となります。

補正予算での増額については、近年の実績を考慮して、当初予算に計上すべきであると考えます。また、こちらは予算編成上の都合もありますので、財政部局と協議しながら、適切な予算措置を進めていこうと考えております。

続きまして、産業係の関係についてお答えいたします。

1点目、有害鳥獣駆除の駆除実績はどうなっていますか、た、猟友会は何名で実施しておりますかというご質問です。

有害鳥獣駆除実績ですが、令和2年度は、カラスなどの鳥類が88羽、ハクビシン等の獣類が19匹となっております。同様に、令和3年度は、鳥類が42羽、獣類が2匹、令和4年度は、鳥類が114羽、獣類が25匹の駆除実績でした。

また、神崎町猟友会の会員ですけれども、最近まで6名でしたけれども、今年、1名、わな捕獲の免許を取得した方が加盟しまして、現在7名となっております。

続きまして、天の川公園の生垣があまり管理されていないようですが、確認していますか、また、公園の利用状況はどうですかというご質問に対してお答えいたします。

天の川公園に関しては、シルバー人材センターを通して管理人を置いております。また、管理人だけでは十分に管理し切れない箇所に関しては、シルバー人材センターの他の会員の方にもお手伝いいただいております。

生垣に関しては、例年もう少し早い時期に刈り込みなどの管理を行ってきましたが、今年は10月頃に実施する予定です。

また、公園の利用状況ですけれども、休憩や散策にお越しいただく方、また公園芝生内に設置されたひょうたん型の池に生育するオニバスを鑑賞に来られる方もおいでになります。

続きまして、非農地判断により遊休農地が大きく減少していますが、非農地の地目は変更されているのですかというご質問です。

非農地判断は、山林化した遊休農地など、再生利用困難な農地を農地台帳から外す処理となります。農業委員、農地利用最適化推進委員3名以上で現地確認を行い、状況を判断するものとなりますが、人為的に耕作できない状況としたものは違反転用となるため、対象とはなりません。

なお、非農地判断した農地に関しては、非農地通知を所有者に発送し、地目変更登

記を促します。登記地目の変更に関しては、原則として所有者が行うものでありますが、山林等、現況と登記地目が相違している状況は芳しいものではありません。農業委員会の職権により、農地台帳から外す処理をした土地となることから、地目変更されていない土地に関しては、地目変更の申出を登記官に行い、登記官の職権により地目変更を行う処理を法務局と調整し、実施する予定です。

続きまして、スマート農業を推進していますが、神崎町の状況はどうなっていますかというご質問です。

スマート農業ですけれども、こちらはロボット技術やICTの技術などを活用して、GPS連動の自動運転機能や、遠隔水管理システムなどの技術を導入することにより、農業の省力化・精密化を図るものです。

農事組合法人神崎東部さんに関しては、令和元年から2年度にかけ、農林水産省の事業であるスマート農業技術の開発・実証プロジェクトの実証農業者として、自動運転トラクターや食味・収量メッシュマップコンバインなどを導入し、現在も先進的な取組を行っております。

また、スマート農業技術の啓発や、国・県及び町単独補助金などにより、スマート農機を導入する町内農業者も増えております。町内全ての農地所有適格法人と、3名の認定農業者が何らかのスマート農機を導入しておりますが、現在把握している限りでは、自動運転田植機が1台。これはロボット田植機です。無人で運転する自動運転田植機が1台、直線キープ田植機が5台、農業用ドローンが4台、直線キープトラクターが2台、オートステアを含む自動運転トラクターが3台、そのほか食味・収量メッシュマップコンバイン、汎用ロボットコンバイン、遠隔水管理システムなどが導入されております。

続きまして、建設関係につきましてお答えいたします。

1点目、神崎川の設計委託料や護岸工事について、補助金はないのですかというご質問です。

河川改修の事業に関しては、今回の神崎川護岸工事の規模で適当な交付金や補助事業がないか現在、精査中であります。また、緊急自然災害防止対策事業債、起債ですけれども、充当率100%、70%交付税措置の起債による歳出削減についても現在、検討しているところです。

続きまして、武田古山線改良工事で矢崎橋の段差解消を実施していますかというご質問です。

昨年度の舗装修繕工事では、段差解消の造成までは実施しておりませんが、事故防

止のために矢崎橋のガードレールにデリネーター及び反射表示を設置するとともに、路面に白線で「段差あり」の文字と減速表示を行い、橋の上に外側線を引きました。また、橋の前後に「段差あり」の看板を設置し、今年度に入っておりますが、夜間の危険回避のために、防犯灯を橋の上に設置しました。

続きまして、成田神崎線で消防庫、農村館の移転先問題の解消に向けて、計画変更など考えていますかというご質問に対してです。

現在、用地買収の関係から、消防庫、農村館の移転に着手できない状況ではありますが、移転場所を変更しますと、改めて移転先の選定をする必要があります。また、神社本庁への財産処分申請、税務署協議も初めからやり直しというような形になりますので、さらに時間と経費を費やすこととなりますので、粘り強く用地交渉を進めていく予定です。

続きまして、町道毛成堀籠線の用地買収の状況はどうなっていますか、また、毛成橋の橋梁定期点検結果を教えてくださいというご質問です。

町道毛成堀籠線の用地ですが、面積的には1,444.81平方メートルのうち1,153.10平方メートルの用地買収が済んでおります。率としては79.81%の取得状況となっております。残る用地は291.71平米で、地権者は7名となっております。

また、毛成橋の橋梁点検結果ですが、橋脚等の下部構造にひび割れや剥離、鉄筋露出、沈下や傾斜が見られることから、健全度判定区分はⅢになりまして、早期に措置が必要な段階という結果となっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 越川まちづくり課主幹。

○まちづくり課主幹（越川 勝也君） 私、越川のほうからは、水道部門の総括質問についてお答えさせていただきます。

まず、給水世帯数が減っているようですが、利用していない世帯へのあっせん活動はしていますかという質問についてお答えさせていただきます。

水道をご利用されていない世帯への取組としましては、町ホームページにて、「水道水を利用しませんか」というページで、水道水の利用の利点等を掲載してPRするとともに、家庭用井戸水をご利用のお客様から、温水便座や温水ボイラーなどで、詰まったり故障して寿命が短くて困っているという相談が水道工事事業者にあった場合には、温水便座の詰まりも少ない、また、温水ボイラーも長もちする水道水の利用のあっせんを行っております。

続きまして、水道水の味が落ちたとの意見があるが、水質はどうですかという質問

についてお答えいたします。

水道水質については水質基準を満たしておりますが、この夏は非常に雨が少ない上に気温が高かったことから、水道水の原水となる利根川の水温が高い状況となっております。このことから、供給する水道水の水温も高い状況が続いていること、また、殺菌するために使用する塩素についても、水温に応じて若干、高く設定して供給しております。皆様が安心して水道水をご利用いただけるよう、また満足いただける水道水がつかれるよう、水道従事者一同、より一層、鋭意努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

次に、水道施設台帳の電子化を職員で行っていますが、委託はしないのですかという質問についてお答えいたします。

水道施設台帳の電子化については、当初は委託により実施することで検討してまいりましたが、今回導入した電子化システムは、職員で構築できるシステムであることから、若手職員の教育の一環と捉え、今回、直営で電子化を進めることとしました。この作業を進めることによって、私どものような高年齢層の職員から、若手職員への技術継承につながるものと考えておりますので、このまま作業のほうを進めていきたいと思っております。

以上であります。

○議長（高柳 智君） 以上で、まちづくり厚生常任委員会の総括質問に対する答弁が終わりました。再質問はございませんか。

3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 私のほうから、あまり毛成堀籠線の話はしたくはないんですけども、先ほど点検の結果、レベルが、レベルというか、Ⅲという、それで早期にという課長のほうから話があったんですけども、早期という考え方は、用地を買収したときの段階で同時に進めるのか、それとも毛成橋だけ先に手を打つ、直すというような考え方はありますか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

橋につきましては、道路と一体のものになってまいりますので、道路の造成と同時に進めていくような形になろうかと思えます。

また、橋の工事に関しては、出水期、川が増水する時期を除いてということになりますので、2年かかることになりますので、そちらのほう、計画的に進めていくようなことになろうかと思えます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 同時に進めるという回答がありましたが、先ほどかなりもう傷んでいるという話の中で、橋は、もちろん毎日のように車は通行します。もちろん大きな農機具もあの上を走行するというようなことがありますので、何かあったときに、ちょうど車両が橋に乗りかかる、乗っているような状態のときにもしものことがあった場合に、万が一ということはあまり考えたくないんですけども、そういうことを踏まえて、やるべき工事の優先順位とかそういうものは、どのような見解になりますか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

おっしゃるとおり、通行中に何かトラブルといいますか事故が発生すると懸念も当然ゼロではありません。ですので、早期の着手に向けて施工を進めていきたいと考えます。

以上です。

○議長（高柳 智君） ほかにございませんか。

10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） 再質問ですので、また通告してありませんから、不意な質問ですが、行きます。全部、石橋課長ですからね。4点か5点あります。

神崎ステーションホール、時給990円でやっていますと言っていました、今、千葉県の最低賃金が980円とか幾らかで、これはクリアしていると思います。財政状況がよいんだから、1,000円ということではどうですか。いろんな今ここの事業所で九百八十幾らかだから、990円なんて半端だからというわけで、いろんな事業所は全部1,000円にしているようなことです。これが1点。

次に、スマート農業ですが、自動運転機械やドローンには、法人化している組合や、あとは認定農業者で、個人で水田を耕作している人には補助金は出ないんですか。これが2点目。

3点目は、矢崎橋、あれは危険です。危険ですからといって、石橋課長の答弁は、防犯灯、反射灯、白線、看板等をやって、事故のないようにやっているというんですが、私は、素人の考えですが、川のところはカルバートをやっている。あれを土壤改良をやるのは、先日、見学に行った道の駅、日本に5台しかない、何百メートルも下に生コンや何かを流し込んで土壤改良をやる、そういうのは無理でしょうが、あの両

脇、凹んでいるところにカルバートで、川はカルバートで橋は沈まないんだから、両脇の田んぼが沈むんだから、カルバートを並べればそんなに経費はかからないんじゃないですか。これは私の素人の考え。この答弁を求めます。

次に、成田神崎線、植房の道路、消防庫と農村館の移転先が相続でなかなか買えないというわけですが、専門家、社労士かな、社労士じゃないかな、専門家に頼めば相続も何とかクリア……、家庭内でのいろんな問題はなかなかできないでしょうが、それは社労士か、司法書士か、そういうのに専門家には依頼しているのか。

それと、やり直したほうが早いのではないかというけれども、それはまた元に戻っちゃうからというわけですが、買えない、買えないと言っていて、それなら移転先を変えたほうが私は早いと思います。これが1点。

最後の、今回の毛成の椿議員は、一丁目一番地ということで、毛成橋、この4年間で頑張るといってやっています。特に80%土地を取得している。あと20%。令和5年で20%ぐらい買えないわけなのか。今年度で買えれば、橋は工事に2年かかるから、椿議員が一丁目一番地、この4年間では実現するといっって一生懸命頑張るとやっているわけですから、さっきの再質問でもその決意は分かりました。

しかも、レベルⅢ。レベルⅣになったら通行止めなんですよ。これは椿議員が心配しているように、もし何かあったら大変です。ⅢからⅣ、Ⅳなら通行止め。それでも工事に着手できないというあれですが、まず、80%土地を取得しているんだから、あと2割の人なんだから、それが取得できれば工事は即、着工できるんですか。

通告していなかったから、いろいろメモしてあるけれども、一つ一つ答弁をお願いします。

○議長（高柳 智君） 寶田議員、5点じゃないですか。

○10番（寶田 久元君） そうですか。5点だな。

○議長（高柳 智君） 5点でよろしいですか。

○10番（寶田 久元君） そうです、はい。

○議長（高柳 智君） 4点ですか。どちらですか。

○10番（寶田 久元君） 5点。まず確認しましょう。まず最低賃金、それとスマート農業、それと矢崎橋、農村館、毛成橋。

○議長（高柳 智君） 5点ですね。

○10番（寶田 久元君） はい。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

まず、ステーションホールの作業員の皆さんの時給の関係ですけれども、先ほどの質疑の中で、10月に賃金の単価を改定しましたというお話をさせていただいたかと思えます。最低賃金が切り上がることによって、そちらに合わせて時給の見直しもする予定でございます。

次が2点目、スマート農業に関してですけれども、スマート農業の補助事業の関係でお答えさせていただきます。

国・県の事業というのは、やはりハードルがかなり高いですので、認定農業者になっていない農家の方が採択するのはなかなか難しいところというのがあります。

それで、町単独事業に関してなんですけれども、実はこちらの要件、認定農業者という要件も1つにはあるんですが、別の見方で、一般の農業者の方も利用できるように、5ヘクタールを超えれば導入することができる、補助の対象になるというつくり方になっております。5ヘクタールやっていけば、認定農業者にというような考え方にもなってくるぐらいなんですけど、個人の農家さんが1軒では2ヘクタールしかない、それが3軒集まれば5ヘクタールを超えるということであれば、3軒の共同申請という形で一般農家の方も申請することが可能です。ですので、本当に一般農家の方が経費の削減等にもなってまいりますので、共同の申請というのをこちらでも実施いただくと、これからの農業経営に関してもよろしいかなと考えます。

続きましてが3点目、矢崎橋の関係です。

水路にボックスカルバートが入っておりまして、その周りが落ちてきているということで、何というんでしょう、盛り上がったような形状になっているということで、先ほど寶田議員おっしゃったように、ボックスカルバートを入れることによって安定するようであればというのも、1つ考え方としては今後、検討していくことにしたいと思うんですが、基本的なところで、橋を打っている、要はああいったカルバートを入れているところの下については、地盤改良を何かしらやっておくようになろうかと思えます。ですので、カルバートを置くだけで安定するかというところは、専門家も通して協議をしてということになります。基本的には地盤改良工事、必要になってくるのかなと考えております。

続きまして、成田神崎線の消防庫、農村館の関係です。

この中で、2点に分かれていたかと思うんですが、1点目は、司法書士等専門家を依頼しているかというようなところで、司法書士のほうに登記の依頼というものはしている状態ではありません。

技術的なところというよりも、家庭内での、何というんでしょう、まとまりといい

ますか、といったところですので、専門家というよりは、本当に当事者の皆さんに粘り強く交渉を進めていくしかないのかなとは考えております。

先ほど移転先を変えるというのも1つではないかというようなお話がございました。移転先を変えますと、総括質疑のお答えの中でもありましたけれども、いろいろ時間であるとかお金もかかってくるころがございまして。用地交渉に関しては、本当にこちらの誠意等で粘り強くというところが一番重要なところだと思いますので、今後も誠意をもって交渉を続けていこうと考えております。

最後に、毛成橋の関係です。

現在、用地取得率約80%ということで、残りが2割ということになります。用地取得については、今年度、できる限り進めていってと考えております。

また、椿議員のほうからもお話がございましたけれども、橋梁の状態があまりよろしくないというようなことでありますので、できるだけ早期に着工というようなことで進められればということがあるんですけども、これをお話しするのはちょっとあれなんですけど、交付金の関係で、今、植房の工事がここ近年になくどんどん進んでいるような状態です。こちらは社会資本整備総合交付金といたしまして、道路の関係の交付金なんですけれども、その中で、重点の事業ということで持ち上げることによって、交付金の採択の割合の金額というのが大分、上がってくるんですね。

ですので毛成線についても、今現在、植房のほうを重点事業ということで上げておりますけれども、この辺、植房から毛成に変えていくのか、またその辺は他の道路事業の進捗も考えながら進めていく、調整していくことになろうかとは思っています。

ただ、おっしゃるとおり橋が危険な状態ということですので、できるだけ早期に適正な措置ができるよう、進めていければと考えます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 10番 寶田議員。

○10番（寶田 久元君） 最後の毛成橋と植房の道路で質問します。

今、石橋課長の答弁は、補助金の関係で、一括して両方はできない。それは分かります。神崎の財政状況は今よいんだから、財調を取り崩して、取りあえず立て替えて、それから後から補助金をもらうということは、これは不可能だろうけども、そういう手はないのか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

補助事業については、事業を実施する前に採択を受けて、交付決定を受けてという

のが前提になりますので、事業をやった後で補助金を受けるというスキームではできないような状態です。

以上です。

○議長（高柳 智君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） 以上で、まちづくり厚生常任委員会に係る質疑を終結したいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） 異議ありませんので、まちづくり厚生常任委員会に係る質疑を終結いたします。

先ほどの答弁がございます。池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） 先ほどの寶田議員からの消防団の報酬について説明をさせていただきます。

神崎町の消防団員の報酬につきましては、神崎町消防団条例で定められております。町独自で定めているものであります。

昨年3月の議会におきまして、消防団条例の一部改正を行いまして、消防団一般団員の報酬を2万円から2万5,000円及び出動報酬のほうを新設したところであります。

また、もう一点、過去から削減されたのかというところではありますが、この条例が平成18年3月27日に施行されておきまして、施行の当初から金額については変わっておりません。

この金額の根拠といたしましては、成田消防に委託する前の佐原市外五町消防組合のときの報酬一覧がありますが、その金額を神崎町の消防団条例に同額を持ってきて、それ以降、増減等はありません。

以上になります。

○議長（高柳 智君） 続いて、討論に入ります。なお、一般会計、特別会計、合わせて討論されるようお願いいたします。

反対討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） 賛成討論はありませんか。

1番 池田議員。

○1番（池田 孝幸君） 令和4年度一般会計、特別会計の認定につきまして、賛成の

立場から討論を行います。

令和4年度の一般会計は、歳入総額32億3,797万9,000円で、対前年度比3.7%減、歳出総額は29億7,456万5,000円で、対前年度比4.0%減少、差引き2億6,341万4,000円。翌年度繰り越すべき財源4,030万6,000円を差し引いた実質収支は2億2,310万8,000円でした。

令和4年度もコロナ感染症対策に加え、緊急生活支援事業など様々な事業を執行し、さらに、令和7年完成を目指し道の駅改修工事等も滞りなく執行されています。また、歳入の柱である町税の滞納処分の早期着手と強化を図り、徴収率の向上につなげたことは、大変評価すべき内容です。

歳入構成比を見ますと、町税22.6%、地方交付税37.2%、国庫支出金11.8%が主な歳入で、合わせて71.6%を占めています。

増減について、増加の主な要因として、新築の増加による固定資産税の増、繰越金、地方消費税交付金、分担金及び負担金それぞれが増加したことが挙げられます。

減少の主な要因として、臨時財政対策債の発行可能額の減少、そして国庫支出金、県支出金、地方交付税それぞれが減少したことが要因です。

続いて、歳出構成比を見ますと、総務費28.4%、民生費27.8%、衛生費9.3%が主で、合わせて65.5%を占めています。

増減について、増加の要因として、目的別支出の総務費である緊急生活支援商品券補助金3,757万円が最も大きく、教育費の町指定文化財保存事業補助金など、それぞれが増額となったことです。

減少の主な要因として、民生費の子育て世帯臨時特別支援事業の完了で6,549万1,000円の減、商工費の地域経済活性化券補助金の完了等、土木費、農林水産業費、公債費、それぞれ減少したことです。

全体では、財政力指数0.387と、県内でも依然、低いのですが、地方債の現在高は16億7,856万6,000円となり、着実に減少していることは評価できます。

財政調整基金を取り崩すことなく、限られた財源で効率的な予算執行に、町長はじめ職員が一丸となって実施されたことは、深く感謝申し上げます。

続いて、特別会計におきまして、国民健康保険事業特別会計は、実質収支3,116万6,000円で、財政運営の主体を県が行うことで財政の安定化が図られております。また、担当課は徴収率の向上のため、滞納繰越分も含め全体で89.4%、前年度より0.9ポイント増加し、努力が見受けられます。

今後、医療費増加が予測されます高齢者の特定健診における受診率の向上に努める

必要があります。

介護保険事業特別会計は、実施収支441万5,000円となっており、徴収率は、特に滞納繰越分19.9%で、31.5ポイント減少しております。これは、物価高騰など経済的な要因があるかと思いますが、引き続き介護給付制限に該当しないよう、制度やサービス内容の趣旨とともに、保険料納付の啓発により一層、努めていただきたいと思います。

後期高齢者医療特別会計は、実質収支2万2,000円でした。今後、2025年を境に、高齢化が一気に進み、さらに被保険者数の増加が見込まれます。高齢者が重症化しないよう、各種検診の受診率の向上に努め、医療費の低減につなげることを期待します。

水道事業運営は、収益的収支3,279万3,000円の純利益を出しております。水道事業収益の主なものは、給水収益1億1,231万2,000円で、営業外収益として、給水申込負担金504万円、補助金3,552万9,000円となっております。

今後、給水世帯数、給水人口数が減少することが予想されます。営業収益を増やすための施策を強く求めます。

キャッシュフローは着実に増え、年度末残高2億5,000万円を超えております。今後、老朽化に伴う施設工事、施設改修などが予測されますので、収益向上に努めていただきたいと思います。

最後に、健全化判断比率でも、実質赤字比率、連結実質赤字比率いずれも黒字となっておりますので、問題なく、実質公債費比率は3.7%で、早期健全化基準25%を下回っており、問題ありません。また、将来負担比率も、早期健全比率を下回っており、問題ないことが分かります。

令和4年度決算は、3年度と同様、コロナ感染症対策を優先し、経費の削減に努め、予算が的確に執行されたことは大変評価できるものであります。

以上、これをもちまして、令和4年度一般会計、特別会計の決算に対する賛成討論といたします。

○議長（高柳 智君） 賛成討論はありませんか。

3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 議長のお許しを得たので、賛成討論をさせていただきます。

保健福祉課関連では、先ほどの総括質問と少し重なるところもありますが、福祉タクシー事業において、年度ごとに利用者の利便性向上を進めながら、併せて利用者を広げる活動として、福祉課の窓口で高齢者並びに障害者等に案内を行って、登録者数が283人と、前年に比べて30人の増となっております。

子育て支援拠点事業のどんぐりの森については、利用者からの意見を反映させ、保育士を配置した、また、先ほど課長のほうからも話がありましたけれども、様々なイベントや保健師、栄養士の育児相談日を設けたことにより、週3回の開催、保護者が674人、子どもが760人、合計で1,434人となりまして、前年度の88人から大きく参加者が増えています。

新規事業として、母乳・育児の推進及び乳房トラブル予防のため、医療機関で乳房ケアに関する費用の全額または一部助成を開始しています。

また、50歳以上を対象とした带状疱疹ワクチン費用助成事業は、近隣では最も早く、令和5年の1月より開始しております。

こども医療費の助成についても、小学校4年生から中学校3年生までの通院費並びに高校生等に関しては通院及び入院費について、町独自事業として実施しています。

あらゆる事業において、国や県からの補助金、助成金、交付金等の支出金を最大限に活用し、財政の健全化に努めております。

保健福祉課では、5つの係、保険、福祉、介護保険、地域包括支援、保育、まさに町民に寄り添い、町民が安全で安心して生活をする上で最も重要な事業を担っていると思います。今後も、きめ細やかな姿勢で業務遂行をお願いします。

まちづくり課関連では、神崎町への移住・定住の促進として、令和4年度実績17件、38人、1,065万の奨励金の交付を行っています。

緊急生活支援事業として、地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰等の影響を受けた町民の生活支援を目的として、発酵の里こうざき笑顔くらし応援券、町民1人につき1万円を配布しております。また、65歳の高齢者についてはプラス1万円を追加で配布しております。

町道新設改良事業の成田神崎線、神宿松崎線、毛成堀籠線については、国庫補助事業として完成を目指し、着実に進めております。

また、道の駅改修事業においても、神崎パーキング（仮称）との連携機能強化に向け、バックヤード進入路の整備並びに土木工事を実施しております。

幹線道路網の整備は、町民にとって不可欠であり、人の流れが変わると思います。人の流れが変われば、そこには様々な変化、相乗効果が表れると思いますので、全面開通に向け、一步一步着実に、スピード感を持って推し進めてください。

水道事業では、収益的収支で3,279万3,000円の純利益が生じ、安心な水道水を安定して皆さんへお届けするということを使命に、浄水場の運転管理、水質管理等の維持管理等を行っております。

また、直営でやるべきことで費用対効果が優れる事務・業務については、できる限り直営にて実施し、職員の技術力を実践にて向上させているとともに、経費の削減に努め、安定した経営を行っています。

令和4年度の直営工事としては、配水管布設工事、バルブ更新工事、ろ過ポンプインバーター化工事等を実施しております。

令和4年度まちづくり厚生常任委員会における一般会計、特別会計、水道事業決算は、予算が的確に執行され、かつ健全財政を堅持しながら効率的な業務ができたことは、大変評価できるものであります。

以上、賛成討論といたします。

○議長（高柳 智君） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） お諮りします。討論を終結し、採決したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） 異議なしと認めます。よって、討論を終結し、採決いたします。なお、採決は、起立によって行います。

日程第1 認定第1号 令和4年度神崎町一般会計歳入歳出決算の認定についてを採決いたします。

本件を認定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（高柳 智君） 起立全員。よって、本件は認定することに決定いたしました。

続いて、日程第2 認定第2号 令和4年度神崎町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決いたします。

本件を認定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（高柳 智君） 起立全員。よって、本件は認定することに決定いたしました。

続いて、日程第3 認定第3号 令和4年度神崎町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定についてを採決いたします。

本件を認定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長（高柳 智君） 起立全員。よって、本件は認定することに決定いたしました。

続いて、日程第4 認定第4号 令和4年度神崎町後期高齢者医療特別会計歳入歳

出決算の認定についてを採決いたします。

本件を認定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(高柳 智君) 起立全員。よって、本件は認定することに決定いたしました。

続いて、日程第5 認定第5号 令和4年度神崎町水道事業会計決算の認定についてを採決いたします。

本件を認定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長(高柳 智君) 起立全員。よって、本件は認定することに決定いたしました。

ここで休憩いたします。議場の時計で13時まで休憩いたします。

(午前11時49分)

○議長(高柳 智君) 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

(午後1時00分)

◎日程第6 一般質問

○議長(高柳 智君) 日程第6 一般質問を行います。

質問は通告書により一問一答方式で行います。答弁者は大きな声で簡潔に答弁をお願いいたします。

◇ 9番 高橋正剛君 ◇

○議長(高柳 智君) 9番 高橋正剛議員の質問を許します。

○9番(高橋 正剛君) 9番、高橋です。ただ今、議長から発言の許可をいただきましたので、質問に入らせていただきます。

日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いてきました。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や、欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念など、日本経済を取り巻く環境は厳しさが増しております。

9月の季語といえば、「秋涼」とか「清涼」などと清々しい秋を連想させる言葉ですが、近年は9月になっても猛暑・酷暑が続いており、今年の夏は各地で最高気温、猛暑日の記録が更新されている異常気象です。

また、ハワイ州マウイ島ラハイナの山火事による死者数は、米国100年の山火事で最も多い死者数となっており、復興には1,000億円以上かかるとの予測もある壊滅的な被害となっており、異常気象にも原因があると言われております。

身近なところの防災についてから質問いたします。町内には、多くの空き家・空き地があります。それら空き家・空き地の中には、管理されていないものや、何年もの間、放置状態のものがあります。管理されていない空き家は、老朽化が進んでしまい、外壁や屋根が朽ちて危険な場所があります。また、管理されていない空き地には、草や樹木が生い茂り、隣地・林野に雑草や樹木の枝が張り出して、伐採できずに困っている住民の方もいらっしゃいます。放火されたり、何らかの原因で火災が発生してしまっただけでは遅いので、早急な対応の方法はありますか。

あとは自席で質問させていただきます。では、石橋課長からお願いします。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

空き家の管理に関してですけれども、空家法、空家等対策の推進に関する特別措置法という法律がございます。その中で、空き家の管理であるとか、自治体の行うことについて記載がされております。適切に管理がされていない空き家について、現状は、周辺住民の皆様からご連絡をいただいた際に、管理状況を確認いたします。それで所有者を調べた上で、所有者へ現状をお伝えし、改善を促すというようなことを実施しております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 今、神崎には相当数の空き家があります。特に私の神宿地区には、おかげさまで1軒ですかね、空き家があるのは。本宿地区にはたくさんの空き家があって、先ほど申しましたように、屋根や外壁が朽ちて危険な箇所がありますが、それらの空き家は、これは持ち主が特定できて、そのような指導は行っているのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

先ほど申し上げましたように、周辺住民の方、また区長さんから情報をいただいた

際は、改善を促すというようなことで対策をしているような状況です。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） そのようにされているんだとは思いますが、全く改善されていないというのが状況で、日に日に荒れていくという状況でございます。これはどのように考えますか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

先ほど申し上げました、空家法というふうに略式でお話しさせていただきますが、空家法の中には、強制執行についても記載がございます。ただし、本町におきましては、空き家対策計画、また、この計画に基づいた協議会というものを現状は設置しておりません。強制執行を行うに当たっては、本当にもう危ないというような空き家を特定空き家と呼びますけれども、そちらの特定空き家の認定をしていく必要があります。法的には、協議会がなくても認定してということは可能ということではあるんですが、実際のところ、適正な執行を促すためには、こちらの計画と協議会を設置した上で進めていく必要がありますので、現状では強制執行までできる状態にはなっていないというようなところではあります。

ですので、今後は、今申し上げました空家等対策計画、そして協議会の設置に向けて検討を進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） そういう協議会が必要だということであれば、今後、空き家は増えていくと思います。早急に協議会を立ち上げて、対処方法を考えていただきたいと思いますが、町長はどのようにお考えですか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） 今、課長が申し上げましたように、順次進めていきたいと思っています。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 町長、すみません、マスクでちょっとよく聞き取れなかったもので、もう一度お願いします。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） 今、課長が申し上げましたけども、順次そうしたことを進め

ていきたい、こういうふうに思っています。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 続いては、雑草や樹木、これですが、私が確認しているところは大変な状況にあって、隣のうち2軒に枝が伸びて、屋根を傷めそうだという状況にありますが、課長にはその場所は分かっていると思うんですけども、どのような対策が取れるんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

高橋議員おっしゃった場所というのが、区長さんのほうからも区長要望で上がってはきているところですので、先ほどお話ししました所有者への改善を促すというようなことについては進めているところです。

ここで改善ができなかった場合は、段階的に命令であるとか、行って行ってというようなどころにはなってくるわけなんですけれども、現状、先ほどちょっとお話ししましたけれども、計画並びに協議会の設置というのがなされていない状況で、なかなか強い措置ができないところで、今のところは改善を促すという、所有者の方に働きかけるというようなどころにとどまっているところです。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） やっぱりこれも協議会が必要ということであれば、早急に設置していただきたいと思います。

次は、空き家バンクです。以前、ほかの議員から同じような質問があり、現状は空き家バンクへの登録条件を満たした物件がなく、稼働していない状態だという答弁をいただきましたが、その後はどうなっているのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

空き家バンクの制度につきましては、平成30年度から運用しております。先ほど議員おっしゃいましたとおり、現在、物件登録がない状況ですが、以前に1件だけ物件の登録がありました。ただ、こちらの物件については、空き家バンク上での制約ではなく、個人間の売買で、空き家バンクからの登録がなくなったような状態です。

その後、現在も登録がない状況ではあるんですが、問題としますと、相続等所有権に関わる点、また、特に大きなのは、家財の処分ということで、手間があるように思われます。何件か空き家バンク、登録できないかなということでご相談をいただいて、

現場にもお伺いしたお宅もあるんですが、家財の処分というお話の後で、なかなか制約、それが片づいていないというようなところで、バンクの登録まで至っていないような状況です。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） では、空き家バンクに登録するには、まっさらの状態、いつでも入居できるよと、簡単に言うと、不動産屋さんを通してアパートなり一戸建てを借りるような条件でなければ駄目ということなんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

多少の家財が残っていたとしても、処分しても結構ですよというような、約款ともいいませんけども、そういった取り交わしがあれば差し支えない部分もあるんですけども、なかなか、家財って本当に住んでいた状態であるというようなお宅が多いような状況ですので、売りに出すというような状況までは至っていないというようなところで

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 分かりました。せっかくある制度ですので、PRして進めていただきたいと思います。

次が、施設整備、ステーションホールの管理状況。先ほどの総括質問でも同じような質問があったんですが、夏場のエアコンの稼働、利用者の方から、特に近年の夏は暑い、その中で、中に入ったら涼しいのかなと思って入ったら、中はもう中にいるところではないと、扇風機もないというところなんです、あそこにエアコンはあるんですが、先ほど伺いましたが、再度、なぜエアコンを稼働させないんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

先ほど総括質疑の中でもございましたけれども、現状、管理組合の作業員がいる時間帯、結局、管理の中でタイマー設定とかがありませんので、その管理組合がいる時間帯の午前、午後の1時間から2時間程度をそれぞれ冷房をつけているような状況というところです。

あと、電気代等も鑑みてというところにはなるわけですが、運用の中で、午前に作業をやって、午後に作業やってということで、そのいる時間だけつけています

ので、その間、午前中に来てつけて、午後に帰るときに消してというような運用、そちらについては検討していきたいとは考えております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 私もあそこのステーションホールに行ってよく見てきたんですが、確かにエアコンはついてます。ついてるんですが、上を見ると、天井が本当に高い。建物としては当時はカッコいい建物ができただと思いたんですが、あれだとエアコンの電気代、相当かかると思います。それに機械も古い。

なので、逆にあれを改修して、天井を低くして、今の効率的なエアコンを入れたら一番いいのかなと。やはりその作業をしている方がいるときだけでは、その時間帯の方だけだと本当に数時間でしかない。一番利用客の多いときにいない場合があるわけですので、天井を改修して天井を低くして、エアコンを常に回せるような状態にするということはどうでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

確かに天井が高い状態ですので、空調の効率は非常に悪い状態であろうかと思えます。天井を低くして効率を上げてということについては、予算的などころもございしますので、検討させていただくようなことになろうかと思えます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） ぜひ、それは改修の検討をしていただきたいと思えます。

次に、トイレの改修をするということだったのですが、JR側のトイレはいつ使用禁止になるのかということと、トイレの改修の進行状況、予定はどうなっているのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

まず、JRのトイレですけれども、今年の2月から使用ができない状態、閉鎖された状態になっております。

また、トイレの改修についてですけれども、洗浄装置付の温水便座を設置するという工事につきましては、工事は既に終わっておりまして、8月21日に検査が終わっております。快適なトイレをご利用いただけるような状態になっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 分かりました。私もトイレも見てきたんですが、年月がたっている割にはきれいに掃除も行き届いて、管理されているのではないのかなと思います。

それから、今度は建物の周りをざっと見ると、建物の周りに雑草が大分、茂っているので、その辺もきちんと掃除をしていただいて、除草していただいて、きれいな駅舎を保っていただければと思いますが、その辺は確認されていますか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

メインとしましては、駅北口の公園の管理といたしますか、草刈りであるとかになってくるわけですが、シルバー人材センターさんのほうに委託をお願いしております。

その中でといたしますか、駅周辺のところについても、除草であるとか刈り込みというのを実施いただいているところですが、昨年の実施状況を見ますと、9月の半ばぐらいに3日ぐらい作業を行っているということですので、間もなく作業に入っ、きれいなのかなとは思っております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 私の見てきたのは8月の下旬でしたので、今、課長の答弁のとおり、今頃はきれいになっているといいなと思います。

続いて、道の駅拡張と地域振興について。

圏央道の4車線化等の工事が遅れるようだが、どれぐらい遅れているのか、また、道の駅の拡張工事との兼ね合いはどうなるのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

圏央道の4車線化の工事に関してですが、令和7年3月を目途に開通というように予定で、国のほうが進めてきたところです。

実はその終期、令和7年3月には間に合いませんと言った区間というのが、大栄ー横芝間ですので、大栄から先の区間ですので、こちらの神崎PAのある位置については、まだ遅れるというような発表はしていないような状況ではあります。

ただ、国交省のほうの公表の中で、いってみれば事業着手で一部遅れが出たというような公表は出ております。ただ、終期が遅れるというような発表は、国のほうでさ

れてはおりませんので、現状は令和7年3月に向けて、こちらの工事も進めていくような方向となろうかと思えます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） それだとすると、4車線化は大栄ジャンクションまでは4車線化になり、予定どおり。神崎のPAも予定どおり3月という判断で今はよろしいんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） 現状ではおっしゃるとおりです。

また、この後、国のほうで変更があったということであれば、それに合わせて町のほうの工事の計画も変わってくる部分があるかと思えますけれども、現状ではおっしゃるとおりとなります。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） それで、今回の道の駅の改修・拡張工事によって、どのような施設が増えるのか教えてください。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

今回、道の駅の改修工事で、本格的な本体工事というのは次年度の着手になるかと思うんですけれども、道の駅改修後、発酵市場の売場面積が現在の約3倍になります。

また、PAの来客に対応したトイレであるとか、簡易チューブを併設した多目的スペースなどが整備されて、機能強化を図るような計画となっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 今、発酵棟が3倍の売場面積になるということですが、神崎と同じぐらいの、規模ではなくて入込み客数、70万人ぐらいでしたっけ、と同じぐらいの道の駅が、九州の直方市にあります。

ここは神崎のちょうど売上げが倍なんです。なぜ倍と分かるかというところ、1人当たりの客単価が2,000円を超えているというところなんです。神崎は、この改修・拡張工事で、売上げはどのぐらいを見込んでいるんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

国といいますか、高速道路を管理している債権回収機構という機構と連結申請を行うに当たっての試算で、11億の売上げを見込んでおります。ただ、これはPAによる純増というようなところで算出しておりましたので、実際に4車線化になりますと、PAではなくてインターチェンジ利用客が増えていくというようなお話があります。ですので、額面的にはもっと上がっていくのではないかなというような期待はしております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 売上げが11億ということですが、それで客数はどのように見込んでいますか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

道の駅の現在の客単価が、おおむね1,000円ちょっとですので、11億ということだと、110万弱、100万人を超えるぐらいの入込み客数というようなことで見てはおります。

ただ、試算したのが少し前の数字ではあるので、現状、入込み客数、大分、増えてはきておりますから、もっと上振れてくるのではないかとはいえます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 110万人と予想しているということですが、この110万人を受け入れるためにいろんな施設を造っているわけですが、トイレも大きなトイレになるということです。特に女性のトイレは、女性は環境を重視するということで、今は荷物棚、フック、便座クリーナー、液体石けん、手すり、温水付洗浄便座、これが三種の神器じゃないですけども、これは当たり前と。もうこれ以上を設備しているところは多分、石橋課長も行かれていると思うんですが、愛知県の刈谷サービスエリア。これはすごく豪華なトイレで有名ですが、そこまでお金をかける必要は当然ないんですが、やっぱりこの最低限の設備は考えているんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

女性トイレの中ですけれども、荷物棚ということで、ハンドバックが置けるような棚といいますか、そのスペースはあるということで確認しております。

また、温水洗浄便座、いわゆるウォシュレットと呼ばれるものですが、こちらについては設置がされるような予定です。

手すりについては、各トイレ全てという形ではなくて、多目的トイレであるとか、身障者の方が使えるようなスペースへの設置、また、便座クリーナーについては、設置するということであれば、道の駅の運営会社のほうでリースといたしますか、機器そのものを含めたリースで設置するかどうかを検討していくところかなと考えております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 古いトイレを改修して、何とか現在のトイレにしていくというのであれば、今の答弁で分かるんですけども、やはり新しいものを造るのに、古い考えでは駄目なんじゃないですか。

それに、手すりは一部というのは、それは身障者のところにつけるということでしょけれども、それは当たり前であって、今はどのトイレ、個室であっても手すりがついているというところですので、ぜひその辺は、どこの業者さんがそういう見積もりを出しているんだか分かりませんが、よく見てきてもらって、最新のところ、神崎は新しくできるのに、古いものができてしまいますので、その辺はよく検討して、見て、検討ではなくて、これは絶対やらないと時代遅れになってしまいますので、ほかに近くにパーキングができれば、そういう設備がついていたらそっちにみんな行ってしまいますから、やはりここでお客さん、来ていただいて、お金を落としてもらって、それなりの施設にしていきたいと思います。いかがですか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

ただ今のお話、設計のほうの事業者さんとも相談させていただいて、よく詰めて、精査していきたいと思います。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） まだ間に合うと思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

それから、またこの道の駅ですが、広場というか、今現状でいうとミニストップの前、そして発酵の喫茶店の前といたしますか、そこの広いスペースには、イベントがあればテントを張ってあります。それとあと発酵市場の前に、以前、セスナが乗っかっていたりした、あそこは日陰になっているので、あそこには置いてありますが、あの

広いスペースに、この夏、何もないというのは、これは多分お客さんに対して失礼なのかなと。お客さんにサービスがなっていないのかなと思います。

この辺でいうと、友部のサービスエリアの広い部分には、大きなテント、固定式のテント、川場にはやはり、何と申しますかね、テントではないんですけども、大きな日よけ、雨よけがあります。そういうものの設置は考えていないでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

現状設計の中では、今おっしゃったような日よけの施設というものは計画されておられません。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） これは私もそうですけれども、いろんな方から大分前から、道の駅が完成したときから要望があったと思うので、当時は川場田園プラザ、聞いたときには、何か補助金があったよということだったんですが、今はどうか、その辺は調べているのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

日よけ自体が対象になるかどうかというところはあるんですけども、今回の本体工事に関しては、内閣府所管のデジタル田園都市国家構想交付金、こちらの採択に向けて進めているところです。

今の日よけそのものが対象になるかどうかという部分については、ちょっと精査が必要かなとは考えております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） このような異常気象で、いつ大雨になるか分からない、日中はこれだけ35度にもなるような天気だということですので、やはりこれもお客さんへのサービスの一環として、ぜひこの日よけ、雨よけは作っていただきたいと思えます。

続いて、以前、町長からありましたが、公園、そしてドッグランをつくりたいというお話を伺いましたが、今回の改修工事には、これは含まれているのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） 今回の改修工事には入っておりません。あのストックヤード

のほうを、この前お話しさせていただきました。3町歩ほどあるわけでありまして。これについては今、国交省が材料置き場として使っています。これは田んぼに土を盛って、大変大きな面積として使っているわけですが、これは工事が終われば、地権者にお返しを、土を取って元のとおり返すというようなお話を伺っておりますので、何とかそれをそのまま残していただいて、先ほど高橋議員が言われたような町民の声も一番多い公園、あるいはドッグランといった形で利用できれば非常にいいのかなと思っていますので、ぜひそういう方向で進めていきたいと思っています。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） これはやっぱり町長の公園はお考えでもあるし、町民からも要望でもあるということですので、ぜひ実現してほしいと思います。

続いて、地域振興。いよいよ成田空港では、2028年度の滑走路の新設供用開始、1ターミナルの位置もほぼ示されました。

いよいよ年間50万回の発着、7,500万人旅客数、貨物が300万トン、従業員7万人に向かって進み出したところであります。

それに伴って、9市町も発展していかなければなりません。その9市町の発展のためには、地域振興、産業の発展が考えられます。その足かせとなってくるのが、農振法。農振除外手続が必要だということで、千葉県から成田空港周辺の土地利用の規制緩和を求める国家戦略特区、農振法は企業、地域の予見性を害している、なので農振法農振除外手続を国に求めたところ、その結果、国が出した答えは、農振除外、農地転用の特例を講じている地域未来法を弾力的に活用することで、企業の予見性を確保する考えを示す通知を発出する方針という答えが来ました。

ここで、「弾力的活用」という言葉が出るんですが、この弾力的活用というのはどういうことなんですか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

先ほどお話がございました農振除外を弾力的にというお話なんですけれども、地域未来投資促進法、こちら関係と思われまして。地域未来投資促進法の計画を県のほうで定めて、空港圏の農振除外をやりやすくしたというようなことがあります。

具体的に申しますと、こちらは神崎町でいえば、インターチェンジから3キロの区間で、空港の機能強化があるということから、主に物流施設を設置する際の農振除外手続の簡略化というような内容になっております。

先ほど町長のほうからもお話がございました、高橋議員からもありましたけれども、

公園施設であるとかドッグランといった、いってみれば憩いの施設、サービス施設といったところに関しては、現状のこの地域未来投資促進法の特例、こちらには合致していないところではあります。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 空港ゲートからおおむね5キロ、高速道路のインターチェンジからおおむね3キロ、国道と国道の交差点からおおむね3キロ、これがその地域を設定する条件になると思うんですけども、神崎はインターチェンジから3キロ。これは空港につながる高速道路のインターチェンジですが、3キロですから、これには合致すると思うんですが、今どうしても物流施設と一体となるということなんですが、これは今現状の話であって、私がある県の方の説明を聞いたところによると、それはあくまでそうなんですけども、このやはり9市町、これは9市町に対しての特例措置であるので、その9市町各自治体がそれなりに考えて、物流に関連するもの、例えば物流基地に勤める従業員は、この神崎、この北総地区、この旧市町には7万人なんていう雇用はありません。

なので、どこからか当然、雇用を持ってくるわけなんですけど、そのための例えば住宅を造る土地を整備するであるとか、この道の駅もそのための何であるとかという、そういうようないろいろな方法があると思うんですが、その辺の検討はどうなんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

現在、この地域未来投資促進法を適用してというのが、多古町と成田市のほうで物流施設ということで計画が上がっているところです。

また、高橋議員おっしゃったように、運用の中、解釈の中で、場合によってはその適用ができるケースもあろうかと思えます。そちらについては、これから精査させていただいて、よりよい手続が取れるように進めたいなと思えます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 今、多古町という言葉が出たんですが、やはりこのコロナ禍で世の中が動いていないところでも、多古町と県、この多古には約70ヘクタールの広大な土地空港、一体化となった物流団地、オーストラリアの投資物流企業、グッドマンが来るということなんですけども、やはり水面下で動いていたということは本当に

素晴らしいことというか、すごいということが、またここにインターチェンジをつくってしまうという、そういう計画にもなっているそうなので、ここまでとは当然無理なんでしょうけども、やはりせっかく空港隣接町ですので、何らかの方法で、重点促進地域設定をしていただきたいと思いますので、まだそこはありませんので、設定、何かを考えていただきたいと思います。

何かという言い方も、私も無責任な言い方なんですけど、その辺を模索していったらいいんじゃないかなと思うんですが、町長はお考えはどうでしょうか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） 神崎町の今までの方向としましては、お客さんが来られる、呼び込む、そういうような施設を目指してきました。道の駅、それから公園といったものでございます。

今、物流施設を、あそこにうちが融資を引っ張ってくるというようなことは、まだ少しメリットがないのかなとは感じておまして、今すぐそこへ進むという考えはございません。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 私も、町長、申し訳ない、これは多古と一緒にしてしまったんですけれども、物流施設の中じゃなくても、この重点促進地域設定は将来的にはできるので、今からアクションしてほしいという話を聞いたので、神崎もそのように言ってほしいということです。物流センターを持ってきてくれということではありません。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） それにつきましては、県とも内々で協議を進めています。将来的に、うちの今、目指す方向に、そういったものにつながることをできるかどうかを協議しているところでございまして、将来はそういう方向にもなっていくんじゃないかというような県の見通しもございますので、そういったチャンスを逃がさずにやっていきたい、こう思っています。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 道の駅は、改修工事後、圏央道PAの供用が開始された時点で新たな道の駅、ハイウエーオアシスとなる一大事業です。まさにこれは経営者の手腕が問われるところでありますので、財政規模の小さな町ですので、ここに資源を集中して、国、県、NEXCOと連携して、道の駅の発展、町の発展を考えていただきたいと思います。

続きまして、道路整備。愛宕山の水道整備状況から伺います。愛宕山の水道整備状況、5年前の私の一般質問の中で、排水施設の改良事業についてということで質問させていただきました。答弁が、「現在行っている愛宕山の水道管布設工事も該当になります」ということでしたが、今の現状はどうなっているのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 越川まちづくり課主幹。

○まちづくり課主幹（越川 勝也君） お答えいたします。

愛宕山の水道工事につきましては、28年の4月から着工いたしまして、岩盤の地域でございましたので、大変時間がかかりました。それで、令和3年の11月に全て工事のほう、完了いたしまして、全長232メートル、布設のほうは完了して、通水できるようになっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） その232メートルは、どこからどこまでで232メートル。

○議長（高柳 智君） 越川まちづくり課主幹。

○まちづくり課主幹（越川 勝也君） お答えいたします。

信用金庫から入って行って、ミヤタさんの倉庫の前の坂道から入って行って、最初はカタノさんだと思うんですけども、その前までは、そこで232メートルです。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 分かりました。そうしたらほぼ全ての住宅の前を水道管が通っているということになりますよね。

それで、実際に加入している方は。

○議長（高柳 智君） 越川まちづくり課主幹。

○まちづくり課主幹（越川 勝也君） お答えいたします。

当初は3名の方、お話いただいていたんですけども、1名の方は工事が途中まで進んでおりましたけれども、諸般の事情により、ちょっと接続のほうができなくなったということで中断になっておりまして、あとの2軒の方はお待ちしているような状況になっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） じゃあ、今現状はゼロということですね。はい。

続いて、あそこは越川主幹も工事で何度も行っているんでしょうけども、あの坂道、

大変な坂道で、緊急だったら救急車も消防自動車も上っていけないんじゃないかというような道なんです、水道管を布設したそのちょうど長さ、その道路の整備は状況としてはどうなっているのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

愛宕山の道路に関しては、過去に地区要望もいただいております、道路整備に向けて動いているところではございます。

ただ、道路の一部が私有地となっております、地権者に用地交渉を行っているような状況で、まだ着手ができていないようなところではございます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 5年前は、ちょうどあれは佐藤課長の頃でしたね。私もそれはちょっと協力させていただいて、神崎に在住していない地権者の方と連絡が取れて、相続の関係もあったんでしようが、その辺もうまくいくので町に寄附ができるような状況に近々なるんじゃないかということ聞いていたんですが、今現状、あれから一歩も進んでいないと、一ミリも進んでいないところなんです、どうなんでしょう、これ、5年たってもそのままですか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

実はお一人、反対といいますか、されていた方がおいでだったということで、その方がお亡くなりになって、その後の相続の関係が整うようであれば、用地のめどがついてくるかなというような状況ということでお答えさせていただきます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 今現状は、何もできないと。碎石も敷けないという状況なんです、やはりあそこは、先ほども申しましたように、あの坂は緊急自動車が上っていけるような坂ではない。小学校側からも大きな車は入れない。陸の孤島みたいな状況ですので、何か対策をしてあげなければ……、ただあれ、碎石を敷いただけでは、あの坂はみんな雨で流れちゃうと思うんですよ。やはりあそこに、町道ではないといえ、神崎の住民が住んで町民税を支払っているという中で、あれは神崎一、悪い道じゃないかなと私は思うんですが、何らかの手は打てないんですか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

現在、町道認定されている状態ではないわけですが、あちらの道路は循環道路にはなっておりますので、資材助成というような形の中で、碎石の敷きならしは区のほうと協議をさせていただいて、実施することは可能です。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 平な部分は碎石でもいいと思うんですけども、あの坂の部分は、アスファルトでもコンクリでも、ああいうものでしっかりしないと、みんな流れてしまって荒れる一方だということだと思います。それはどうなんですか。あの部分だけそういう舗装工事をするにはできないんですか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

全線ではなくて部分的にといったところにつきましては、現場と、地権者の方でもすけれども、精査させていただいて、検討させていただきます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） これも町長にお聞きしますが、町長、その場所を町長がご覧になったことがあるかどうか分かりませんが、見ていないようであれば、一度見ていただきたい。やはり緊急自動車も行けない道であるということと、住民の方も苦労していらっしゃるところですので、町長、今、課長との私のやり取りの中で、町長はどう思われますか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） あの道については、私も何度も見させていただいております。地権者の関係もあって、なかなか町道認定できないでいたというような状況もございました。

今、課長のほうから申し上げましたけども、町道でなければ、実際、人が住んでいきますので、生活道としては認められるわけですので、その範囲の中で資材の支援、私は先ほど碎石と言いましたけども、その一部を合わせた生コンはできるんじゃないかということを考えています。

以上でございます。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋正剛議員。

○9番（高橋 正剛君） やはりあそこに住んでいる方の、これは夢のような話だと思

いますので、ぜひ道路改修をしていただきたいと思います。

続いて、これは町なのかどうか、私もよく分からないんですが、じょうもの郷の入口付近の古いますとU字溝、これが大変、そこに行く人も、ガードレールの外側になるので、なかなか人もそうは入れるところではないのですが、この間、課長に確認をしていただきました。あれは結論、どこがどうで、どうなるんでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

今お話のありました集水枡なんですけれども、浅野自動車さんの展示場の反対側ぐらいに位置するものです。

県道江戸崎神崎線ののり面に設置というような状態なんですけれども、これは破損して水路にすら接続されていないような状態です。排水機能としての機能も有していないように思われます。

また、蓋がされておりませんで、深さもありますので、人が落ちた場合、大変危険な状態であると認識しております。

まず、県道の横ということで、香取土木事務所に確認しましたら、設置されている場所は道路区域外ということで、県の管理物ではないという回答を頂いています。

現在、下総土地改良区と協議をして、実際、現在、何にもつながっていない、恐らく古い土地改良施設の一部なんだろうと思われますので、改良区さんのほうに確認が取れましたら、構造物を、穴を埋めるなり、危険のないような状態に持っていければということで今、進めているところです。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋議員。

○9番（高橋 正剛君） 今、課長がおっしゃったように、あれは古い用水の跡だと思います。土地改良する以前は、あそこから用水を下の田んぼへ流しているという時代でしたので、その土地改良のときに、用水路は撤去したんだけど、あのますだけ残ってしまったということだとは思いますが、ちょっと危険ですので、ぜひあれは撤去なり埋めていただくなりしていただきたいと思います。

続いて、ここに大貫在住の議員もいらっしゃるんですけども、大貫の水路が大変危険であると。そこにグレーチング等、何らかの蓋をしていただけないかという話が私のところにありましたので、あえて質問させていただきます。

課長の中にも、あそこに落ちたという課長もいらっしゃいますので、大変危険だと思います。その経緯と、今後はどうなんですか。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

こちらは大本といいますか、もともとは野球場であるとか特別支援学校が、大きな池だった頃、あちらの水路には水があって、必要なものであったということだったんですけれども、現状、その池のほうも埋め立てられて今に至っているような状態です。

少し古いお話にもなるんですが、平成25年度に、雨が降らなければ水が流れない状態であるということから、悪臭、害虫などの発生が見られるといったことから、大貫集落内水路の環境整備計画を策定するようにご要望いただいた経緯がございます。

26年度から、水路清掃を計画的に実施して、令和2年度には、地区内水路の現地測量を実施しました。ただ、測量を実施して、今度設計というような段に進もうという中で、地元のほうから、あの水路をあのままというようなご意向の方もいらっしゃるということで、地区内の意見集約というものを進めなくてはいけないようなところで現在、止まっているというか、測量までを終えての状態になっているというようなところです。

以上です。

○議長（高柳 智君） 9番 高橋正剛議員。

○9番（高橋 正剛君） それはよく検討していただいて、対応していただきたいと思っています。

私は60分ですので、あと5分しかありません。次の質問に行くと中途半端になってしまいますので、これで私の一般質問を終わりにさせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（高柳 智君） 以上で、9番 高橋正剛議員の質問を終わります。

ここで休憩といたします。議場の時計で14時10分まで休憩とします。

(午後1時55分)

○議長（高柳 智君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

(午後2時10分)

○議長（高柳 智君） 一般質問を続けます。

◇ 8番 石橋 伸一 君 ◇

○議長（高柳 智君） 8番 石橋伸一議員の質問を許します。

○8（石橋 伸一君） 8番、石橋伸一でございます。議長のお許しをいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられてから4か月が過ぎました。新しい変異株のオミクロン株E G. 5、エリス、ピロラが拡大し、新型コロナ患者が急増し、第9波と言われていています。感染力がやや強く、中等症か軽症の症状だと報告されています。これからも不安はありますが、感染対策に気をつけて過ごしていきたいと思っております。

また、日本では、今年は最も暑い夏と言われ、世界では異常気象が続き、大規模な山火事や大雨による洪水など、大きな災害が起きております。千葉県でも、台風13号による線状降水帯が発生し、大雨の被害で、各地で浸水の被害752棟、道路全面通行止め50か所、停電や電車も止まりました。今、復旧に向けての活動が懸命に行われております。いつ来るか分からない災害への対策準備を心がけたいと思います。

今回の質問は、区長要望について、高齢者対策について、交通安全対策について、保育所についてをお伺いしてまいります。

最初の質問は、各地区で生活に欠かせない要望がたくさんあると思いますが、令和5年度の区長要望はどのような内容がありましたか、お伺いしたいと思います。

以降の質問は自席で行います。

○議長（高柳 智君） 廣瀬総務課長。

○総務課長（廣瀬 裕君） ただ今のご質問にお答えいたします。

令和5年度の区長要望といたしましては、今現在、全体で16件の要望が上がってきております。保健福祉課に対する防犯灯設置要望が1件、そのほか、まちづくり課建設係系への要望が15件となっております。まちづくり課系への要望内容については、担当のほうからお答えいたします。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

まちづくり課の区長要望の件数ですけれども、先ほどもお話ありました15件。これは今年の8月28日付であります。

大まかな内容は、道路整備、排水整備、交通安全対策、樹木伐採・除草に関することが挙げられます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 現在、16件ほどの区長要望があるということですが、その実施状況はどのような形になっておりますでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 私のほうからは、保健福祉課に寄せられた要望についてお答えさせていただきます。

防犯灯の新設に関する要望を1件、頂戴しております。

要望箇所に電柱が立っていないというケースでございまして、電柱への共架ができないという状況の場所になっております。ということで、新規に電柱を立てる必要がございまして、今、予算面を含めて、すぐに対応することは難しく、今後の予算の執行状況を見まして、年度末近くに執行残での対応ができればということで検討中でございます。

もし執行残が少ないという場合には、翌年度以降の予算による対応を検討しているところでございます。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） それでは、まちづくり課の関係につきましてお答えいたします。

要望の内容が実施された、または実施する見込みがある場合を実施済みとしましたところ、15件のうち10件、約67%が実施というような考え方になってまいります。残りの5件の要望につきましては、町での対応が困難な場合であるとか、対応方法の検討、また内容の精査が必要というような状況になっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 各地区ですので、本当に生活している範囲内での要望が大きいと思います。いろいろ町のほうの大きな事業も大切ですが、やっぱりふだん生活している地区の状況を少しでも改善できたらいいと思いますので、いろいろ検討していただいて、できることは早速やっていただきたいと思います。もし時間がかかるところは、各区長さんのほうに説明等をよろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、台風13号で神崎町も大分、大雨になったりして、一時、道路のほうが冠水とか、そういうところにあった時間帯もありましたけども、町のほうでハザードマップ、特に神崎町の内水マップで、住宅地区の冠水する場所、この辺はマップでは大体大きく田んぼ等も含まれているんですけども、この中で、住宅地区の冠水する場所、こちらがお分かりでしたら、どの辺が冠水しやすいのか教えていただきたいと思います。

います。

○議長（高柳 智君） 池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） 石橋議員の質問にお答えいたします。

ハザードマップであります。国では、利根川等が氾濫した場合に浸水が想定される区域、予想される水深及び浸水継続時間を示しました洪水浸水想定区域を、水防法の規定に基づき公表しております。それに基づき図示したものが、ハザードマップ、内水マップとなっております。

議員のおっしゃるとおり、内水マップにつきましては、想定最大規模を基に作成しておりますので、利根川堤防沿いの地区から米沢地区へと広い地域に影響を及ぼすものという予想がされております。

質問の、その中で住宅地区の冠水する場所はということですが、過去の経験例に基づきますと、過去の冠水箇所、356バイパスの側道周辺、神崎大橋下のシロキヤ倉庫周辺や役場入口交差点、神崎神社下、356周辺の下堤地区、松崎の幹線排水路周辺、天の川公園周辺等が冠水したことがあるということで把握しております。

以上になります。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 大雨で今、田んぼダムということで、田んぼのほうでも大分、一時的な雨については引き受けてられるんじゃないかなと。前回でも大分、田んぼのほうは水がいっぱいでした。用水路の排水のほうも結構いっぱいでしたけども、道路等については、あまり冠水する場所が少なかったように受け止められます。

そういう中で、今教えていただいた場所、結構あると思うんですね。やっぱりそういう場所に対して、分かっているのであれば、もし今、線状降水帯みたいな非常に短時間で記録的な大雨が降る、こういう可能性もあるし、大体排水の状況は1時間に50ミリ程度の機能しかないと。それ以上の場合には、必ず冠水する可能性が強いということなので、その場所について、今現在どのような対策が取られているのか、もし対策等があれば、お願いしたいと思います。

○議長（高柳 智君） 池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） お答えいたします。

大雨の際には、冠水箇所、特に過去に冠水したことがある箇所等について、注意、巡視等を行い、通行の危険があると見込まれる場合、あるいは通報があったとき等、三角柱やバリケードを設置しまして、注意喚起をさせていただいております。

また、内水対策も必要となってきますので、定期的な巡視によりまして、本流の内

水の推移との差を見た上で、水門の開閉、排水機場、ヨウソウであったり松崎であったりの排水機場の早めの稼働を管理者のほうにお願いし、強制排水による対応をしておるところであります。

以上になります。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 町のほうの対応の方法だと思うんですが、現在、多少の雨でも、地盤が低い、あるいは排水路の勾配が逆になっていて、少しの雨でも集まりやすい場所もあると思うんですね。やっぱりそういう住宅に近い家庭についての、例えば個人的には、もし雨が降ったら、例えば土嚢の準備をすとか、それからあるいは地区としてどのような対策が取れるのか、やっぱり浸水する場所、冠水する場所というのは決まっていると思いますので、その辺について、個人でできること、それから地区でできること、あるいは消防団が各地区にいますので、そういうときにどういう手助けができるのか、あるいは町としてどういうものができるのか、その辺、少しでも対策の方法があれば、現在分かっている程度でいいんですけども、お話ししていただければと思います。

○議長（高柳 智君） 池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） お答えいたします。

土嚢につきましてですが、現在、役場の車庫等に、今の時点で500袋ほど保管をしております。大雨が降って住民の方が土嚢が欲しいといった場合には、役場のほうに取りに来ていただき、配布をしておるところであります。

また、大きな災害になってくると、自分で取りにこられないということも考えられますので、役場のほうからトラックに乗せて、人が足りている限り持っていくということをしております。

以上になります。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） ぜひ、少しでも困っている家庭等がありましたら、その辺の手助けをお願いしたいと思います。また排水ポンプ等があると思うんですね。例えば田んぼのほうから、水路からくみ上げて田んぼに入れたりするような、簡易的なやっぱりそういうポンプでもって排出もすることはできると思いますので、短時間であんまり多くないところは、そういうような、やっぱり排水ポンプ等の簡易的なものでも、すぐ設置してできるようなやっぱりそういう対策も必要になってくると思うんで、もう少し個人でできること、それから地区でできるほど、やっぱりその辺を区別しながら

ら、内水の対策、あるいは冠水しやすい場所の対策等を考えていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

それでは、2番目の高齢者対策についてのほうに質問を変えていきたいと思えます。

まず、子育ての支援ももういろんな支援をいただいて、充実してきていると思えます。そういう中で、65歳の以上の高齢者の人数も、これからは多くなってくるのではないかなと思えます。

高齢者福祉にも、これからは少し力を入れていただきたいなと思っております。そういう中で、福祉タクシーの利用状況は現在どのような状況になっておりますでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 福祉タクシーの利用状況でございますが、7月末時点でございますが、294人の方から利用申請がございます。

福祉タクシーというのは、500円のタクシー券を1か月あたり6枚、3,000円分を交付しております。現在、本年度につきましては、約2万1000枚のタクシー券を交付しておるという状況でございます。

そのうち実際の利用されてる方につきましては、同じく7月末時点でございますが、175人の利用がございまして、1か月あたり、1人平均して約2,500円分の利用があるという状況でございます。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 結構利用されている方が多いと思えます。その中で、令和5年の当初予算の中で、民生費、福祉タクシー委託料468万で、これは1人幾らぐらいの年間補助となっておりますか。それによって、大体どのぐらいの人数が利用できる範囲になっていきますか。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 先ほど申し上げましたとおり、本年度の平均の金額が月2,500円相当ということで、それと大差ないと考えております。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 福祉タクシーの個人の助成については、年間1人3万6,000円以内、申請する時期によっても値段等は変わってくると思えますけれども、1人3万6,000万円以内ですから、低いこともあると思えますけれども、人数が175人。これは令和4年度に比べると、令和5年度というのは増加している傾向があるのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 人数的には若干増加しておりますし、金額的にも増加傾向ということになっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 増加しているということですので、この件を申請する方というのは、どういう方がこの申請をしているのか、それから申請の基準について、先ほどお話ありましたけれども、もう一度確認のため答弁のほうをお願いしたいと思います。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） まず、福祉タクシーの対象となる方について申し上げます。在宅で日常生活を営む方で、次の4つのいずれかの要件を満たす方が対象となっております。

1つ目ですが、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳いずれかの交付を受けた方。2つ目ですが、要介護あるいは要支援認定を受けた方。3つ目ですが、65歳以上で運転免許証を自主返納された方。4つ目ですが、65歳以上で同居している家族全員が公共交通機関以外に交通手段を持たない方でございます。

7月末時点でございますが、最初の障害者手帳を交付されている方については、71人24%となります。の方が申請されております。

2番目の要介護、要支援認定を受けた方につきましては、129人、44%の方が申請されているということで、最初の障害者手帳と要介護要支援の方だけで、全体のおよそ3分の2という割合になっております。

残りの65歳以上で運転免許証を自主返納された方等、家族全員が交通手段を持たない方につきましては、合わせて94人の32%というような割合になっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） そういう中でも、65歳で運転免許証は自主返納される方、これは高齢者の交通事故等がテレビ等で結構多く放映されております、アクセルとブレーキを間違えたり、そういうようなこともあるので、自主返納される方もこれから多くなっていくのではないかなというようなことが考えられます。

それからあと、家族の中で誰も免許は持っていないという方もいらっしゃると思うんですが、免許を持っている方が日中、仕事や出かけて、本人1人が残ってしまう場

合もあるんですね。家庭の中では。そういうときに、病院や買い物等に行く必要性が出てくる人もいると思うんですが、そういう中で、もう少し申請する条件についても、ある程度家族の中で免許を持っている人がいても、仕事に行って、実際には自分1人免許なく、交通機関等がなかなか使えない場合に、福祉タクシーを利用できないかというようなことも起きてくるのではないかなと思うんですが、その辺の条件緩和について、どのように考えておりますか。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 条件の緩和でございますが、令和3年度にタクシー券の増額をしております。その際に、こちらの同居家族全員が交通手段を持たない方を追加しております。その前の年、令和2年度には、運転免許証を自主返納された方ということで、対象を追加してきたところでございます。これに伴って、実際は本事業に係る経費、費用についてもここ数年、増加してきておるとい実状もでございます。

議員おっしゃられたように、福祉タクシーの制度の拡充につきましては、制度を今後も安定的かつ持続的にとという観点も必要かなと考えますので、将来の財政負担も考慮しながら、今後検討してまいりたいと考えております。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） ぜひ、生活パターンも変わってきておりますので、いろんな条件をその都度、見て行ってほしいなと思います。

町長のほうにお伺いしたいんですけども、そういう中で、毎回福祉タクシーの利用が多くなり、それから病院等も神崎の病院等よりも成田市や香取市やそういうところの医療機関にかかっている方も多くいらっしゃるようになるんじゃないかなと思うんですが、今、1人当たり大体3万6,000円以内のこの補助から、もう少し増額をして、ある程度安心して高齢者も外に買い物、あるいは通院等で出かけられるようなことは考えていただけませんか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） お答えいたします。

確かに、高齢者の足という問題は、これから大きな問題になってくると思っています。循環バスだけでは補いきれないものがあるかと思っています。この足の問題は、私もずっと考えておまして、2年前に年間2万4,000円から3万6,000円にと5割増しにした経緯がございます。それから条件も緩和してきました。

これからも、財政の許す範囲で何かできないかなといつも思っていますので、それはまた検討させていただきたいと思っています。

よろしく申し上げます。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） それでは、町長の検討していただけるという回答をいただきましたので、次の質問のほうに移らせていただきます。

交通安全対策についてお伺いしたいと思います。改正道路交通法の施行により、令和5年4月1日から、自転車利用者へのヘルメット着用が努力義務化されました。自転車死亡事故の約7割が、頭部に致命傷を負っています。着用していない場合の致死率は、着用している場合と比べると2.3倍も高くなっています。それだけ自転車で転んだときに頭部を打つ確率が高いし、それだけ重症・致命傷になる確率も高いというようなことから、努力義務に変更されてきていると思います。将来的には義務化されるのではないかなと予測されますが、そういう中で、神崎町の状況をお伺いしていきたいんですけども、前には神崎小学校は自転車通学が許可されていたようなところを、うすら覚えに覚えているような感じだったんですが、現在の神崎小の……、米沢小は自転車通学はなかったような記憶があるんですけど、神崎小の現在の状況はどのようなになっておりますか。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） 石橋議員のご質問にお答えいたします。

今・高谷地区等、自転車通学可能な区域はございますが、今現在の自転車通学者はゼロということで、ございません。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） それでは、小さい子どもも自転車に乗るのによく利用されていると思うんですけども、これは統計的にアンケートされたら分かると思うんですが、現在、小学生で自転車を利用しているような子どもたちって、どのくらい神崎町にいらっしゃるか、もし分かればお伺いしたいと思います。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） お答えいたします。

まず、神崎小学校ですが、自転車を所有している子どもたちは、全校生徒166名に対して135名、全体の81.3%の子どもが自転車を所有しております。

米沢小学校においては、全校生徒33人中31名、全体の93.9%が所有・利用しているということでありまして。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 予想していたよりも相当な数の子どもたちがふだん自転車を利用しているということが分かりました。

小学校のほうでは、この子どもたちに対する安全対策、もしどのようなことが行われているかお分かりでしたら、お願いしたいんですが。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） お答えいたします。

当然、学校の授業の中でも、そういった安全教育というのは行っております。それと、町の交通安全協会さんのほうで、そういった事業を行っていると思いますので、そういったことを実践しながら、子どもたちに安全教育のほうを推進しております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） それでは、中学生は割合に自転車通学者が結構多いと思いますけども、中学生の自転車通学者は何名ぐらいいらっしゃいますでしょうか。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） お答えいたします。

中学生の自転車通学ですが、学年でいいますと、1年生が26人、2年生が24人、3年生が33人、合計83人でございます。全校生徒104名のうち、約8割が自転車通学をしている状況です。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） そうしますと、8割は自転車通学で、残りの2割、こういう方も、自宅のほうでは自転車を利用しているようなことだと思いたしますが、その辺の人数等はお分かりでしょうか。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） こちらも聞き取りを完了しております。

1年生が34人中31人、2年生が32人中27人、3年生が38人中34人、合計で104人中92人、88.4%が自転車を所有・使用しております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 小学生と同様に、中学生では自転車通学者が多いので、この安全対策というのも行われていると思いますが、もしどのような形で行われているか

お分かりでしたら、お願いします。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） お答えいたします。

中学生については、既に基本的なことについては、小学校のほうで安全教育を行っておりますので、特段、学校として、授業としてそういった教室を行っているということは聞いておりません。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 前には、自分らが中学生のときには、自転車点検の日とかそういうのがあって、委員会の方かな、子どもらの委員会で作った人が、その日にはいろいろそれぞれブレーキが大丈夫とか、ライトが大丈夫とか、結構そういう日もあって、自転車に対する安全点検などを行ったりしたような記憶があるんですけども、今の自転車は結構丈夫だと思いますけど、何かのきっかけで、ほかの指導も考えられたら考えていただければと思います。

そういう中で、子どもたちも相当数、自転車を利用していることが町の中では分かりました。それからあと買物とか通院に自転車を利用する、免許を返納してしまって、自転車で外出をするというような方も結構いらっしゃるというような話を聞いております。

そういう中で、一般の方も含めて、自転車用のヘルメットの購入補助金、これを考えていただきたいと思うんですが、そういう中で、4月1日以降、補助金を出している自治体も結構増えてきています。そういう中で、例えば市川市は2,000円、野田市は3,000円を上限、それから松戸市2,000円、東金市1,000円上限、それから浦安市2,000円、成田市は2分の1以内、そういうような形で、この4月1以降、各自治体のほうで、交通安全を含めて購入の補助金を考えているところが多くなってきているのが事実だと思います。

そういう意味で、神崎町もこれだけ自転車を利用する方が多くなってきておりますので、一般の方も含めて、ヘルメットの購入の補助金、この辺を考えていただきたいと思いますが、町長はその辺、どのように考えておりますでしょうか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） 今、中学生のヘルメットについては、半分くらいは既に助成をされている状況だということでございますので、それから小学生もほとんどが既にヘルメットを持っている状況でありますかね。

そうすると、一般の方ということになってくると思いますけれども、なかなか一般の方までは助成も厳しいのかなとは思っています。ですから、まずは小中学生をしっかりとフォローアップできればいいかと、そんなふうに思っていますので、その辺のところの助成は少し考えていければいいのかなと思っています。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） この制度は始まったばかりですので、各市町村等の動向を見ていただきながら、ぜひ拡大のほう、小中学生を中心に、ぜひ検討のほうを、もしできたらお願いをしてほしいと思います。

それでは、次に4番目、保育所についての質問をさせていただきます。

保育所、米沢保育所、それから神崎保育所、神崎には2つの保育所があります。そういう中で、「誰でも保育、希望者殺到」というような見出しの新聞記事もありました。

今年の7月16日の読売新聞の中では、少子化対策として、国は親の就労の有無に問わず、全ての子どもが保育園を利用できる制度の創設を打ち出しました。子どもを預けられない専業主婦らの負担を軽減し、育児の孤立化を防ぐのが狙いである。来年度以降の導入に向けて、モデル事業を現在、行われております。こういうようなことで、子どもが保育園に全員、希望者は入れるというような動向のほうに進んでいると思います。

そういう中で、現在の状況で結構ですが、保育所のまず定員、0歳児から5歳児までの人数、定員がどのくらいあるのか、お分かりでしたらお願いします。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 神崎保育所と米沢保育所を合わせて、定員は180人となっております。

神崎保育所が120人、米沢保育所が60人という内訳でございます。

年齢ごとでは、5歳児が43人、4歳児が43人、3歳児44人、2歳児27人、1歳児17人、0歳児6人となっております。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） そういう中で、保育所の利用のほうの人数をお聞きしたいんですが、前に表でもってお願いしました。例えば0歳児、町の0歳児の人口に対して保育所を利用している人数、それから利用していない人の人数、それが分かると、子どもたちが何歳児は何人いて、実際に保育園に何人通っていて、自宅のほうでいる方の人数も把握できると思いますので、その辺をお願いします。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 9月1日現在の状況を申し上げます。

全体では、利用人数143人の児童が利用しているということでございます。

年齢別に、町の人口、利用人数、差引きの未利用の児童という形で申し上げます。

まず、0歳児ですが、人口25人に対しまして、利用人数は7人。差引き未利用者が18人でございます。

1歳児、人口24人に対しまして、利用人数が18人。差引きで6人の方が未利用ということですが。

2歳児、人口20人に対して、利用人数は12人でございます。差引きで8人の方が未利用でございます。

3歳児、人口28人に対しまして、利用人数は26人。2人の方が未利用ということですが。

4歳児、人口42人に対しまして、41人が利用されております。お一人の方のみ未利用という形です。

5歳児、人口40人に対しまして、利用人数が39人。未利用者は1人ということですが。

合計ですが、0歳から5歳児まで、合わせまして人口179人のうち、保育所を利用されている方、143人になります。差引きで36人の方が利用されていないという内訳になっております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 0歳児が未利用者が多いということは、多い理由としてはどのようなことでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 0歳児につきましては、保育所の利用が7か月たった児童から利用可能ということで、7か月に満たない児童が未利用者の中には含まれているということでございます。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 統計しますと、0歳、1歳、2歳児の方が自宅にいる方が多いように感じられますが、0歳児、7か月から保育所に通えるというようなことですが、産前・産後、大体休まれると思えますけれども、大体7か月待たないで仕事に行かなくちゃいけない人も中にはいると思えますけれども、神崎の場合、自宅で見られる方が多ければ、自宅で見ている方もいらっしゃるんですけども、家庭保育、これは

産後の出勤日から6か月まで、大体7か月から入れるので、6か月ぐらいまで、一般の家庭で子どもを預かってくれる制度があります。家庭保育。大体1人で3人まで。それは保育園の保育士の資格を持っていたり、子どもを育てた経験があったり、1階にそういう子どもたちを預かれる広さがあったりというようなところもあると思うんですけども、料金は、利用者本人プラス自治体からの補助で1人当たり幾らというようなことで補助を受けながら、家庭保育ということもあります。

そういう中で、神崎町も7か月以前で預けたいという人があれば、その家庭保育とか、そういうこともぜひこれからは考えていただければ、例えばアパートに住まわれている方やそういう方も、子どもを預けながら仕事のほうも行けるのではないかなということもありますので、0歳児の6か月ですか、これぐらいの期間まで、保育園に入れるまでの間を穴埋めできるような制度も、もし今考えていらっしゃらなければ、その辺も少し幅を広げて考えていただければ、保育に関してもいいんじゃないかなと思っております。

この36名の方が保育所を今、利用されていないと。入らない方も含めてですけども、そういう中で、希望者全員ができれば保育所に通っていただければありがたいかなと思っております。

その中で、保育所の入所条件、こういうのもあると思うんですけども、現在こういうご家庭のお子さんだったら預かれるという条件、あると思いますけども、その条件についてお願いしたいと思えます。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 保育所への入所要件について申し上げたいと思えます。

保育所に入所するためには、保護者が保育を必要とする事由に該当することによりまして、児童を家庭で保育できないということが必要でございます。幾つかの事由がございますので、申し上げます。

まず1点目としましては、月48時間以上の就労をしていると。就労されているというケースです。

次に、病気やけがのため、または精神や身体に障害があるということで、病気、あるいは障害によるものということです。

3つ目としましては、親族を介護や看護しているということで、親族介護のケースでございます。

4つ目ですが、災害、風水害、火災その他の災害復旧に当たっているということで、

これは災害復旧のケースになります。

5つ目ですが、求職活動、これは起業の準備を含むということですが、求職活動を継続的に行っている場合がございます。

6つ目ですが、就学をしていると。学校に通っているというケースになります。

7つ目ですが、出産の前後であるということで、おおむね産前・産後2か月が目安になりますが、出産の場合ということでございます。

保育を必要とする事由ということで、以上が考えられます。それ以外にも、それと同等程度の保育を必要とする理由があるということで、こちらは福祉的な意味合いがあつて、保育の実施が必要と認められる場合などがございます。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 現在、8項目の条件をお話ししていただきまして、そこに一番最初をお願いした、国のこれからの方向性を考えて、専業主婦が今この条件には入っておりませんでした。こういうことも動向を見ながら、専業主婦の方であっても、子どもを預けられる、子どもの保育をお願いできるというような追加条件、この辺も少し考えて、新しくしていただければありがたいと思っております。

次に、保育所というのも、ただ子どもを預かって、お父さん、お母さんが仕事に行つて帰ってくるまで子ども預かっているだけではなく、小学校に入るまでの事前のやっぱり教育や指導、こういうものも入ってきていると思います。

自分のときはいきなり小学校だったの、小学校で「あいうえお」を覚えて、名前を書くことがあったんですが、今の子どもたちは、もう小学校に上がる前からある程度の学力は身につけていると思います。

そういう中で、保育所の教育に関する指導は、何に基づいて行われていますでしょうか。

○議長（高柳 智君） 石井保健福祉課長。

○保健福祉課長（石井 達矢君） 保育所の保育の指導が何に基づいているかということでございますが、国、厚生労働省が定めました保育所保育指針に基づきまして、保育を実施しております。

保育所保育指針というのは、保育所の保育内容や保育に関する考え方を国が定めたもので、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿などがそこに示されているものでございます。

この保育所保育指針に基づいて、保育の考えや狙い、内容、運営等について、保育課程と呼ばれる保育理念、保育方法、保育所ごとの目標などを定めたもの、あと指導

計画案、これは保育課程に基づいて、より具体的な方向性を示すということで、クラスごとに作成しているものですが、これらを作成しまして、保育を実施しているというところでございます。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） 管轄の省庁が違うのであれですけれども、幼稚園は文科省のほうで、それから保育所は厚生労働省のほうで、ある程度その指導指針、指導要領等は文科省のほうは小中学校と同じように幼稚園もつくられていると思うんですね。それに基づいて、保育園のほうも合わせて指導等が行われていると思います。

先ほど人数を聞きましたが、ある程度、保育所に預けられていれば、そういう教育を受けられる機会はあると思うんですね。でもやっぱり預けられていない子どもに関しては、そういう教育を受ける機会が少なくなっているんじゃないかなと思うんですね。そういう意味でも、全員が保育所に入って、同じような指導や教育を受けられる、やっぱりそういうことも必要になってくるのではないかなと思います。

ただ、預けられない子どもの中には、それぞれの希望や事情があって、全員とはいかないとは思いますが、今、神崎町は保育料利用者負担、町内における保育所の保育料は、0歳児から無料になっています。それから給食についても、3歳未満児の給食費は無料で、3歳以上は副食費も無料になっているということで、相当、保育所は、子どもたちの補助については、町はいろんなことをやっていただいております。

そういう中でも、ぜひまだ保育所を利用されていないご家庭のお子さん、結構、就学前でもいると思うんですね。あまり小さい場合にはなかなか難しいと思うんですけれども、3歳以降、あるいは2歳、それから1歳、それぞれの段階に応じた指導をしていただくと、大分、違ってくるんじゃないかなと思います。

そういう中で、希望者全員、事情がある方は入所されないと思いますけれども、それ以外の方は全員、保育所に入所していただいて、同じように教育や指導を受けられたらいいと思いますので、この辺の全員入所についての町長のお考えはどうでしょうか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） 確かに、希望される方全員を受け入れるというのは理想であると思います。しかし、現実的な問題としまして、場所の問題、スペースが足りないんだろうと思います。

保育士の不足については、正採はなかなか急に集まりませんので、臨時の職員を集めるということは可能だと思います。

そうした努力をしながら、全員に近づけるようなことはしていきたいなど。特に今、石橋議員が言われたような就学前の4歳、5歳と、そういう人たちに幼稚園並みの教育をというようなお話もございましたので、そうしたことに向けては、努力をしなければなと思っています。

よろしく願いいたします。

○議長（高柳 智君） 8番 石橋議員。

○8番（石橋 伸一君） ぜひよろしく願いします。

時間は短いのですが、以上で一般質問を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。

○議長（高柳 智君） 以上で、8番 石橋伸一議員の質問を終わります。

一般質問を続けます。

◇ 3番 椿 浩 一 君 ◇

○議長（高柳 智君） 3番 椿浩一議員の質問を許します。

○3番（椿 浩一君） 3番、椿浩一です。議長より発言がお許しされましたので、一般質問をさせていただきます。

ウイズ・コロナの中で、新しい議会体制がスタートしました。コロナ前よりも闊達な議論、充実した討論、そして分かりやすく透明性を向上させ、議長が目指す議会改革を共に進めていきたいと思っております。

私から、大きなところで2つ、神崎町第5次総合計画について、2つ目、町長の2期目のスタートに当たりというところで質問させていただきます。

具体的な内容については、自席にて行いたいと思います。

○議長（高柳 智君） 3番 椿 浩一議員。

○3番（椿 浩一君） それでは、まず大きなところの1つなんですけども、神崎町の第5次総合計画について。

前期基本計画に示されている25の施策は、組織として取り組みを行っていると思います。実施計画では、3年ごとに作成し、進捗管理を行うとなっておりますが、非常に多くの取組事項があるため、組織の中で1年ごとに到達目標を定め、整理しながら進捗管理を行う必要があるのではないのでしょうか。

また、その結果・成果を町民に示すべきではないのでしょうか。

○議長（高柳 智君） 椿町長。

○神崎町長（椿 等君） 今、ご指摘がございました基本計画の件につきましては、3年間の目標をつくっています。実際問題、なかなか、言われたように、年度ごとのどれだけ進捗したかというような把握が難しいということでございますので、今、その辺についても改正しようというようなことで進めておりました、といたしますのは、現実的な問題といたしまして、来年度予算を組むわけですので、予算を組む際にも、そうしたものをしながら組んでいくべきだというのが筋だと思いますので、そうしたことをしていこうということで今、進めているところでございます。進捗管理をしっかり行いながら、1年ごとのローリングというようなこともやりたいと思っています。

詳細は、また担当のほうから説明させていただきますので。

○議長（高柳 智君） 池上総務課担当課長。

○総務課担当課長（池上 至人君） 椿議員の質問にお答えいたします。

まず、総合計画についてであります。現在、令和2年度に策定いたしました神崎町第5次総合計画及び前期の基本計画の3年目でありまして、実施計画につきましては、本年度が3か年計画の最終年度となっております。

その実施計画であります。次期実施計画の策定につきましては、これまでは3年に一度つくっておりました。予算編成が出来上がる年度末に行っておりましたが、計画を立て、次年度の当初予算にそれを反映させるためには、決算が終わり、当初予算案策定前の今の時期、これからの時期に取りかかる必要があると考えております。

あとご質問にありました到達目標と進捗管理についてであります。前期基本計画の中で、項目ごとに達成目標というのを示しております。実施計画を策定する中で、その達成目標の進捗管理のほうを行いまして、実施計画の中にその達成状況を示すことができれば、よりよい実施計画になるのではないかと考えております。

また、策定した実施計画であります。新年度の予算と擦り合わせをした後に、町ホームページ等で公表していきたいと考えております。

以上になります。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 何か私が求めていたところの答弁が非常にされてしまって、質問が結構厳しいんですけど、でもまさに私も、予算を立てる上で、この計画があつて予算がある。結果、その予算の設定ができるという考え方を持ってこの質問を行おうと思っていましたので、町のほうで、そういうような中でこれからこの計画に沿った予算策定というんですかね、そういうものを行っていただければということであれば、それをしっかり私としても見ていきたいと思っておりますし、しっかり進捗管理も見ていき

たいと思います。

ここに合わせて、先日、4年度の決算の説明の中で、まちづくり課の地域振興、こういう書類を説明でもらっているんですけども、ここの中に、この表に、総合計画体系のページが多分47ページで、ここに番号が入って、この項目に対しての内容ですよというふうに、これは捉えたんですよね。それは間違いないですかね。

それで、このようにしっかりできているというところも私は確認しています。中身を言えば、この総合計画自体の項目と少しずれているというか、ちょっと違うかなという内容もあるんですけども、全くやっていないとは思っていません。そういうところをしっかりとやっている係もいるんだなというところは、しっかり私は捉えているつもりです。そういったことも踏まえて、しっかり単年度ごとにやっていただければなと思います。

次、この総合計画の続きなんですけども、この中に土地利用構想という項目があるんですけども、この内容を見ると、この内容の中で、いろんな地区のことを「進めます」だとか、「努めます」だとか、「図ります」という言葉だけで終わってるんですよ。

これを、じゃあ、この計画の中で、到達点をどこに置いて、どう見ていくんだということ。だからこれは段階的に少し考え方を整理して見ていかないと、このままでは……、もしどこかでそういうものが管理されているというならば教えていただきたいし、もしそういうことができていないならば、今後どう変更していくのかというのを教えていただきたいなと思います。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） それでは、土地利用構想に関してお答えをさせていただきます。

神崎町の土地利用構想は、町内を大きく区分けして、土地利用の方向性を示したものです。都市計画に基づいた開発計画であるとか、具体的な土地利用を表したものではないような状態です。

ですので、このくくりの土地をこのように開発もしくは農地の振興で進めていきたいという方向性を示したようなものということでご認識いただければと思います。

以上です。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 今、方向性を示すというような答弁ありましたが、方向性を示して、その中身は、悪い言葉で、どうでもいいという話ですか。結果を見せては

いないんですかね。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

当然のことながら、農業を振興する地域であるとか、また道の駅の周辺で開発を進めていこうというような方向性を示させていただいております。その中で、要は土地利用の方向性をつけている中で、例えばですけれども、土地改良事業であるとか、また、道の駅の周辺で開発行為といったもの、そういった大規模な土地利用、具体的な土地利用の変化であるとかが生じた際、町民の皆様にも周知をしていきたいと考えております。

以上です。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 今、町民のほうへもしっかり周知というような言葉をいただいたので、そこはしっかり行っていってもらいたいと思います。

続きまして、町長の2期目のスタートに当たりというところで、町長の2期目のスタートに当たり、会議室の中で職員への訓示というところで、「町民が望むことをどれだけやるか、できない理由を考えるのではなく、やることを前提に行動すること」という言葉がありました。

この言葉が、どう各職員が理解して、日常業務の中でどう行動しているのかというのを確認したいと思います。

○議長（高柳 智君） 廣瀬総務課長。

○総務課長（廣瀬 裕君） 椿議員のご質問にお答えいたします。

職員に対しましては、椿町長の基本理念にあるとおり、「全ては町のために、全ては町民のために」との言葉であります。職員一同、町民一人一人の声を大切に、それぞれの部署で町の発展、町民の皆さんの幸せにつながるよう、努めてまいります。

これからも、まちづくりのコンセプトとして掲げている「生き生きワクワク 人も発酵するまち 神崎」、その実現に向けて、全ての分野を成長させるべく、職務に取り組んでまいります。

以上です。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） では、何か具体的に、今年の5月と今年の7月で何か変わったと、課の中が変わったというような具体例はありますか。業務に当たる中で。

○議長（高柳 智君） 廣瀬総務課長。

○総務課長（廣瀬 裕君） 今回、2期目のスタートということでございますが、町長は1期目からこのコンセプト、そしてお話にありましてとおり、できない理由を考えるのではなく、やることを前提に行動すること、これも1期目から掲げている言葉でございます。

2期目のスタートということで、職員も気持ちを新たにしているところではございますが、1期目同様、町長の掲げるまちづくりのために努めてまいってきているところでございます。

以上です。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 業務に取り組む姿勢というところでは、町民が望むことを待っているのか、それとも自ら考え行動しているのかというところを確認したいと思えます。

先ほど私が言ったのは、じゃあ、5月と7月で何も変わっていないのかというのを聞きたいんですけども、もし変わっていることがあるならば何か、また何か課の中で新しいことを始めたというようなことがあるならば、教えていただきたいなと思えます。

○議長（高柳 智君） 廣瀬総務課長。

○総務課長（廣瀬 裕君） 5月と7月で変わった点ということでございますが、特段、目に見えて変わるということはないのかなと私は考えております。

5月であっても、町長の目標に邁進するため、力を合わせていく、それが再選された後も継続されているというような状況でございます。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 確かにその2か月間で何かが大きく変わるというようなことはないと思うんですけども、1つの、何というんですかね、期待として、この2期目、また新たな気持ちでというところもありますので、何か今までとは違うことを課の中で取り組むというようなことがあったら教えていただきたいんですけども、もう少し、あとは、課の中で日常業務を行うに当たり、もしかしたら課の中で、こういうやり方をしたから成功したような事例だとか、事例紹介みたいな、今回こういう案件があったんですけども、それをこういうふうにしたから、今までと違った工夫をして取り組んだから、結果うまくいったというような、そういったものの共有だとか、成功事例の紹介だとか、事例紹介というようなことを、課の中全体で共有するというんですかね、そういうようなやり方というんですかね、そういうことはあるんですか

ね。

○議長（高柳 智君） 廣瀬総務課長。

○総務課長（廣瀬 裕君） お答えいたします。

具体的な事例ということでございますが、すぐにちょっと思い浮かばないんですが、いずれにしても、私たち職員は、職務を通して町に貢献したいと考えてございます。

町長の目指すまちづくり、町政運営のために、職員一人一人が考え、その考え町長あるいは上司に相談して、方向性を確認した上で行動し、業務に取り組んでまいり所存でございます。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） 今、総務課長のほうからそういう答弁をいただいているんですけども、もしかしたらここにいらっしゃる課長の中で、うちの組織の中ではこんな取り組みもやっているというような例があれば、教えていただきたいんですけども。

○議長（高柳 智君） 石橋まちづくり課長。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） お答えいたします。

具体事例、5月と7月の違いというようなところでのお話ですと、実際、椿町長、再任ということで、町長が当初町長になられたときも、「全ては町民のために」というお話をされておりました。

その中で動いてきて、先ほど総務課長も、5月と7月で劇的に変わったわけではないという話をしましたけれども、ただ、心を新たに、町長の訓示の言葉というものをもう一度刻んでというようなところで、業務に今、当たっているようなところなんです。

それで、本当に継続事業ではありますけれども、パーキングエリアの事業というふうに取り組んでおります。こちらも本当に多方面の方といろいろ擦り合わせをしながら、国であるとかNEXCO、またそういったところと協議を進めながら事業を遂行しているというような中で、意識として、いろいろ町民の皆さんに喜んでいただける施設をつくっていかうというものは、強くなってきたところではございます。

成功事例ということだと、実際、今、継続している事業というような中ではございますので、ただ本当に個別に見ていきますと、なかなか難しいご質問かなと思います。本当にイデオロギー的なところにはなってしまうわけなんですけれど、神崎町というのは行政規模の本当に小さな自治体ということがありますから、町民の皆さんと町の職員との距離というのが非常に近いところにあると思います。町民の皆さんの本当にお困りになったことであるとか、ほかの自治体に比べても、きめ細やかに対応が

できる状況にあらうかと思えます。

私の属しますまちづくり課、本当にいろいろな要望が寄せられてきますけれども、小さな事柄でも真摯に受け止めて、対処方法を考えて、できるだけ対応できるようにしたいと考えております。ちょっと回答としては難しいところではあるんですけども……。 （「答弁がおかしいよ」「5月から7月に変わったこと」と呼ぶ者の声あり）はい。

○議長（高柳 智君） 静粛に願います。

○まちづくり課長（石橋 正彦君） ということで、気持ちも新たに職員も業務に努めているということで、お話をさせていただきました。

以上です。

○議長（高柳 智君） 浅野教育課長。

○教育課長（浅野 憲治君） お答えいたします。

今、石橋課長が大分、苦しい答弁だったんですが、私のほうについては、教育委員会ということで、5月、7月というスパンではないんですが、4月1日から教育委員会の教育課長になりまして、大きくは、学校教育と社会教育と2つの分野を受け持っているわけですが、このコロナ禍で大分萎縮してきた諸行事が、コロナが明けて解禁されたという中で、徐々に再開してきております。

学校においては、こういった教育基本法だとか学校教育法に基づいて、日本国民たるもの全部同じ内容で教育を受けるというところではあるんですけども、神崎においては地域とのつながり、連携を図っておりますので、神崎、米沢それぞれの学校で地域連携を図りながら、今までどおり連携を進めていくということであります。

もう一つの社会教育なんですけど、私ごとになるんですけど、過去40日、上野に勉強に行かせていただきまして、社会教育主事の資格を取っております。また教育委員会に来ましたので、そのときの知識・経験を生かして、今まで中止だとか縮小していた社会教育事業を再開させて、住民の方が学習できる機会をどんどん広げていってきたいと思っております。

教育基本法第3条で、生涯学習の理念というのがうたわれております。「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたってあらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と規定されております。

ふれあいプラザを使った各種事業、そういったものに一層、住民の方が望むものを取り入れて、またこちらからも提案しながら事業展開を進めていきたいと思えます。

社会体育のほうでは、昨年度ファイナルを迎えました町民運動会、これに続く行事として、10月9日にスポーツフェスタということで計画しております。周知のほうが遅くなってしまったんですけれども、こちら第1回目ということで、手探りの中ではありますけれども、住民の方が楽しめるようなイベントを開催したいと思って準備をしておりますので、後ほどチラシ等をご覧になるとと思いますので、ぜひご観覧いただければと思います。

以上です。

○議長（高柳 智君） 3番 椿議員。

○3番（椿 浩一君） コロナの関係で、ウイズ・コロナ、アフター・コロナと今言われておりますけれども、多分、今までとは違うことが待ち受けていると思います。その中で、今までとやり方が違うというところを共に勉強しながら進めていただければなと思いますし、一番最初の基本計画のところについて、しっかりと答弁いただいた内容を実施していただきたいと思います。

少し早いですけれども、私からの一般質問をこれで終了します。ありがとうございました。

○議長（高柳 智君） 以上で、3番 椿 浩一議員の質問を終わります。

◎散会の宣告

○議長（高柳 智君） 以上で本日の日程は全て終了いたしました。

お諮りいたします。本日の会議はこれまでにとどめ、散会したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者の声あり）

○議長（高柳 智君） 異議なしと認めます。よって本日はこれにて散会いたします。

なお、次回は15日午後2時から会議を再開します。ご苦労さまでした。

（午後3時27分）